

平成 3 0 年の災害

広 島 市
(危機管理室)

目 次

第1章	気象概況（広島地方気象台提供）	1
1	平成30年（2018年）の気象の特徴	1
2	月別気象概況	1
3	気象注意報・警報等の発表状況	9
4	梅雨期の状況	10
5	平成30年7月豪雨の状況	12
6	台風の状況	24
第2章	地 震（広島地方気象台提供）	26
1	月別・震度別地震回数	26
2	震度1以上を観測した地震の震央分布図	26
3	広島市各地の震度	27
第3章	風 水 害	28
1	被害発生状況・避難情報	28
2	災害応急組織を編成して対応した災害の概要	29
(1)	平成30年7月豪雨	29
(2)	9月29日～9月30日 台風	36
第4章	火 災（消防局提供）	38
1	火災発生状況	38
2	1日当たり及び1件当たりの火災概況	39
3	火災件数と死者数の推移（過去10年間）	39
第5章	ガス災害（消防局提供）	40
1	ガス事故件数及び死傷者数	40
2	ガス事故発生場所別被害状況	40
3	消費先におけるガス事故発生原因別件数	41
第6章	危険物災害（消防局提供）	42
【参考1】	救急活動（消防局提供）	43
1	事故別出動件数・搬送人員	43
2	1日当たり出動件数・搬送人員	43
3	救急出動件数及び搬送人員の推移（過去10年間）	44
【参考2】	救助活動（消防局提供）	45
	平成30年（2018年）災害のまとめ	46

第1章 気象概況（広島地方気象台提供）

1 平成30（2018）年の気象の特徴

(1) 概況（詳細は「各月の気象概況」や「主な気象災害」を参照）

1月と2月は気温が低く、北部を中心に大雪となった。春から夏にかけては記録的な高温となったほか、「平成30年7月豪雨」により県内の広範囲で未曾有の大雨となった。

1月と2月は、日本付近にはしばしば強い寒気が南下し、平均気温は平年よりも低くなった。

県内では北部を中心に大雪になり、交通障害が発生した。

春から夏にかけては、記録的な高温となった。特に夏は梅雨明けがかなり早く、厳しい暑さが継続して県内では6観測所で日最高気温が高い方からの1位を記録した。

「平成30年7月豪雨」の発生により西日本中心に記録的な大雨となった。7月上旬は、本州付近に梅雨前線が停滞し、南から大量の湿った空気が流れ込んだため、広島県では数日にわたり記録的な大雨となり、土砂災害や河川の氾濫など甚大な被害が発生した。

秋は、9月は秋雨前線や湿った空気、台風の影響で曇りや雨の日が多くなり、10月と11月は天気が数日の周期で変化することが多かった。

12月は、湿った空気や気圧の谷の影響を受けて曇りや雨の日が多かった。

(2) 平均気温

年平均気温は、庄原と廿日市津田では平年よりかなり高く、高野、三次、大朝、加計、府中、東広島、福山、広島、生口島、大竹、呉では平年より高く、油木、三入、世羅、竹原では平年並となった。

(3) 降水量

年降水量は、高野、東城、世羅、福山、竹原、生口島、呉、倉橋では平年よりかなり多く、三次、庄原、八幡、大朝、油木、王泊、加計、甲田、上下、三入、府中、志和、東広島、廿日市津田、広島、大竹では平年より多くなった。

(4) 日照時間

年間日照時間は、庄原、三入、府中、生口島、呉では平年よりかなり多く、高野、三次、大朝、加計、世羅、東広島、福山、広島、竹原、大竹では平年より多く、油木、廿日市津田では平年並となった。

2 月別気象概況

1月：冬型の気圧配置となる日が多かった。日最深積雪（12日）は八幡で131センチ、高野で94センチ、大朝で86センチを観測し、月平均気温は全ての観測所で平年より「低い」または「かなり低い」となった。

上旬：冬型の気圧配置となることが多く、10日は強い寒気が流れ込み大雪となり、南部でも積雪となる所があった。八幡で86センチ、高野で63センチ、大朝で49センチの日最深積雪を観測した。

中旬：前半は冬型の気圧配置が続き、北部を中心に大雪となった。12日の日最深積雪は八幡で131センチ、高野で94センチ、大朝で86センチを観測した。後半は低気圧の通過で雨の日があったものの、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

下旬：冬型の気圧配置となることが多く、曇りや雨または雪の日が多かった。強い寒気の影響により県内の観測点で、生口島を除き平均気温は平年よりかなり低くなった。

月平均気温：高野、三次、庄原、大朝、加計、三入、世羅、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、生口島、大竹、呉では低く、油木では平年よりかなり低くなった。

月降水量：大朝、王泊、加計では平年よりかなり多く、高野、三次、庄原、東城、八幡、油木、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、生口島、大竹、呉、倉橋では平年より多く、甲田、上下、三入、世羅、志和では平年並となった。

月間日照時間：府中、東広島、竹原、生口島、大竹では平年より多く、油木、三入、世羅、広島、呉では平年並、高野、三次、庄原、大朝、加計、福山、廿日市津田では平年より少なくなった。

2月：前半は冬型の気圧配置となった日が多くなり、日最深積雪は八幡で206センチ（6日）、高野で107センチ（7日）、大朝で86センチ（7日）を観測した。後半は気圧の谷や高気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変化した。

上旬：中頃に強い冬型の気圧配置が続き、北部を中心に大雪となった。八幡で206センチ（6日）、高野で107センチ（7日）、大朝で86センチ（7日）の日最深積雪を観測した。

中旬：中頃に気圧の谷や前線の影響で雨の日があったものの、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

14日は低気圧が発達しながら日本海を東に進んだため、山陰を中心に南よりの風が強まり、気温も高くなり中国地方で「春一番」が吹いた。

下旬：28日に前線を伴った低気圧の接近で雨の日があったものの、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

月平均気温：高野、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、生口島、大竹、呉では平年より低く、三次、庄原、大朝、油木、加計、三入、世羅では平年よりかなり低くなった。

月降水量：王泊では平年よりかなり多く、八幡、大朝、加計では平年より多く、高野、廿日市津田では平年並、三次、庄原、東城、油木、甲田、上下、三入、世羅、東広島、広島、大竹、倉橋では平年より少なく、府中、志和、福山、竹原、生口島、呉では平年よりかなり少なくなった。

月間日照時間：三次、庄原、油木、三入、世羅、府中、東広島、生口島では平年よりかなり多く、高野、大朝、加計、三入、福山、広島、竹原、大竹、呉では平年より多くなった。

3月：中旬にかけては高気圧と低気圧の影響を受けて天気は数日の周期で変化したし、低気圧や前線の影響で荒れた天気や大雨となった日があった。下旬は高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、日照時間は全ての観測所で平年よりかなり多くなった。

上旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。5日は前線を伴った低気圧の通過により、廿日市津田で74.5ミリ、広島で69.0ミリ、高野で65.5ミリの日降水量を観測した。

中旬：前半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。後半は気圧の谷や前線の影響により、雨の日が多かった。19日に廿日市津田で52.5ミリ、佐伯湯来で46.5ミリの日降水量を観測した。

下旬：21日に前線や低気圧の影響でまとまった雨となったが、全般に高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

月平均気温：高野、三次、庄原、大朝、油木、加計、世羅、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、生口島、大竹、呉では平年よりかなり高く、三入では平年より高くなった。

月降水量：高野、三次、庄原、東城、八幡、大朝、油木、甲田、上下、世羅、府中、志和、福山、広島、竹原、生口島、呉、倉橋では平年よりかなり多く、王泊、加計、三入、東広島、廿日市津田、大竹では平年より多くなった。

月間日照時間：全ての観測所で平年よりかなり多くなった。

4月：低気圧や前線などの影響を受ける日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。

上旬：気圧の谷や寒気の影響で雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

中旬：14日は気圧の谷や湿った空気の影響で雨となったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かった。24日は前線や低気圧の影響により廿日市津田で124.5ミリの日降水量を観測した。

月平均気温：高野、三次、庄原、大朝、加計、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、生口島、大竹、呉では平年よりかなり高く、油木、三入、世羅、竹原では平年より高くなった。

月降水量：高野では平年より多く、大朝、甲田、三入、世羅、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、呉、倉橋では平年並、三次、庄原、東城、八幡、油木、王泊、加計、上下、志和、生口島、大竹では平年より少なくなった。

月間日照時：高野、庄原、三入、世羅、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、生口島、大竹、呉では平年より多く、三次、大朝、油木、加計では平年並となった。

5月：高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は概ね数日の周期で変化した。上旬は低気圧や前線の影響を受け大雨となった日があった。

上旬：低気圧や前線の影響で、2日に廿日市津田で54.5mmの日降水量を観測し、6日から7日にかけては八幡で123.5mmの降水量を観測するなど、大雨となった。

中旬：高気圧に覆われる日が多かったが、湿った空気や前線の影響を受けて、13日に高野で46.0mm、18日に世羅で46.5mmの日降水量を観測した。

下旬：23日に気圧の谷の影響で廿日市津田42.0mm、内黒山37.5mmの日降水量を観測したが、26日まで高気圧に覆われて晴れの日が多かった。27日以降は気圧の谷や湿った空気の影響を受けて曇りの日が多かった。

月平均気温：高野、三次、庄原、大朝、加計、府中、東広島、廿日市津田、広島、大竹、呉では平年より高く、油木、三入、世羅、福山、竹原、生口島では平年並となった。

月降水量：高野では平年よりかなり多く、三次、庄原、東城、八幡、大朝、王泊、加計、甲田、上下、世羅、志和、東広島、廿日市津田、広島、呉、倉橋では平年より多く、油木、三入、府中、福山、竹原、生口島、大竹では平年並となった。

月間日照時間：、次、庄原、油木、三入、世羅、府中、広島、生口島、大竹、呉では平年並、高野、大朝、加計、東広島、福山、廿日市津田、竹原では平年より少なくなった。

6月：梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、28日から30日にかけては活発な梅雨前線の影響で大雨となった。中国地方は、6月5日ごろ梅雨入りした。

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、5日以降は気圧の谷や前線の影響を受けて曇や雨の日が多かった。5日には八幡で、6日には東城で、それぞれ40.0mmの日降水量を観測した。なお、中国地方は5日ごろに梅雨入りしたと見られる（平年より2日早く、昨年より15日早い）。

中旬：気圧の谷や湿った空気の影響を受ける日が多かった。19日から20日にかけて美土里で81.5mm、倉橋で76.5mm、大朝で76.0mmの降水量を観測した。

下旬：梅雨前線や湿った空気の影響を受ける日が多かった。29日から30日にかけて芸北で雨量が多くなり、八幡で150.0mm、王泊で136.5mm、大朝で133.0mmの降水量を観測した。

月平均気温：庄原、府中では平年より高く、高野、三次、大朝、加計、世羅、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、生口島、大竹、呉では平年並、油木、三入では平年より低くなった。

月降水量：八幡、大朝、王泊、加計、内黒山では平年より多く、高野、三次、庄原、東城、油木、甲田、上下、三入、世羅、志和、福山、廿日市津田、広島、竹原、生口島、倉橋で平年並、府中、東広島、大竹、呉では平年より少なかった。

月間日照時間：庄原では平年よりかなり多く、三次、府中、生口島では平年より多く、高野、大朝、油木、加計、三入、世羅、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、大竹、呉では平年並となった。

7月：3日から8日にかけて、台風第7号や停滞する梅雨前線の活動が活発となったため記録的な大雨となり、6日から7日にかけては、広島県に大雨特別警報が発表された（この大雨は「平成30年7月豪雨」と命名された）。その後は高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、全ての観測所で平年より高くなった。中国地方は7月9日ごろに梅雨明けした。

上旬：台風第7号や梅雨前線、湿った空気の影響を受けて、3日から8日にかけて雨量が多くなった。特に6日から7日にかけては雨が強まり、広島県では初となる大雨特別警報を発表した。期間中の降水量は、呉市蒲刈で517.5mm、本郷で490.5mm、志和で488.0mmを観測した。なお、中国地方は7月9日ごろに梅雨明けしたとみられる（平年より12日早く、昨年より4日早い）。

中旬：大気の状態が不安定な日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。県内での期間の降水量は油木で23.5mm、世羅で15.5mm、東城と上下で9.0mm、佐伯湯来で7.0mmのみであった。

下旬：大気の状態が不安定な日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。29日は台風第12号の影響で八幡39.5mm、呉市蒲刈36.5mm、呉と道後山35.5mmの日降水量を観測した。

月平均気温：全ての観測所で平年よりかなり高くなった。

月降水量：油木、甲田、上下、世羅、府中、志和、東広島、福山、広島、竹原、生口島、呉、倉橋では平年よりかなり多く、三次、庄原、東城、内黒山、三入、廿日市津田、大竹では平年より多く、高野、八幡、大朝、王泊、加計では平年並となった。

月間日照時間：高野、三次、庄原、大朝、加計、三入、府中、福山、廿日市津田、広島、生口島、大竹では平年よりかなり多く、油木、世羅、東広島、竹原、呉では平年より多くなった。

8月：高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、先月からの気温が高い状況が継続した。中旬以降は前線や湿った空気の影響で曇りや雨となった日もあった。

上旬：大気の状態が不安定になった日や湿った空気の影響を受けた日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、13日に大気の状態が不安定となり内黒山で55.5ミリ、16日に前線や湿った空気の影響を受けて三入で42.0ミリなどの日降水量を観測した。

下旬：湿った空気の影響を受けて局地的に大雨が降り、25日に内黒山で52.5ミリ、28日に福山で58.5ミリ、31日に高野で48.0ミリの日降水量を観測した。

月平均気温：高野、三次、庄原、大朝、加計、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、生口島、大竹、呉では平年よりかなり高く、油木、三入、世羅、竹原では平年より高くなった。

月降水量：高野、内黒山、福山で平年並、三次、庄原、東城、油木、甲田、三入、世羅、府中、志和、廿日市津田、広島、竹原、生口島、大竹では平年より少なく、八幡、大朝、王泊、加計、上下、東広島、呉、倉橋では平年よりかなり少なくなった。

月間日照時間：高野、三次、加計、三入、世羅、府中、東広島、廿日市津田、広島、生口島では平年よりかなり多く、庄原、大朝、油木、福山、竹原、大竹、呉では平年より多くなった。

9月：高気圧に覆われて晴れた日もあったが、秋雨前線や湿った空気、台風の影響で曇りや雨の日が多くなった。

上旬：前線や湿った空気の影響を受けて雨の日が多かった。1日は八幡で108.0ミリ、内黒山で88.5ミリ、9日は倉橋で102.0ミリ、東城で92.5ミリの日降水量を観測するなど、大雨となった。

中旬：湿った空気や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。このため、県内全ての観測点で日照時間が「平年より少ない」「平年よりかなり少ない」となった。

下旬：湿った空気や前線、台風第24号などの影響で曇りや雨の日が多かった。特に29日から30日にかけては前線や台風第24号の影響により、29日に内黒山で118.0ミリ、佐伯湯来で108.0ミリ、30日に油木で168.0ミリ、道後山で151.5ミリの日降水量を観測するなど、大雨となった。

月平均気温：高野、三次、庄原、大朝、油木、府中、東広島、福山、廿日市津田、生口島、大竹、呉では平年並、加計、三入、世羅、広島、竹原では平年より低くなった。

月降水量：高野、三次、庄原、東城、八幡、大朝、油木、王泊、加計、上下、内黒山、三入、世羅、府中、東広島、福山、広島、竹原、生口島、大竹、呉、倉橋では平年よりかなり多く、甲田、志和、廿日市津田では平年より多くなった。

月間日照時間：全ての観測所で平年よりかなり少なくなった。

10月：高気圧や低気圧、寒気の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変化した。

上旬：前線や湿った空気、台風第25号の影響で曇りの日が多かったが、平均気温は県内の全ての観測点で平年より高くなった。降水量は内黒山以外の観測点で平年より少なくなった。

中旬：高気圧に覆われる日もあったが、気圧の谷や湿った空気、寒気の影響を受ける日が多かった。

下旬：高気圧に覆われる日が多かった。気圧の谷や寒気の影響により、23日に呉市蒲刈で21.0ミリ、福山で18.5ミリ、26日に廿日市津田で19.0ミリ、広島で15.5ミリの日降水量を観測した。

月平均気温：庄原、生口島では平年より高く、高野、三次、大朝、油木、加計、三入、世羅、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、大竹、呉では平年並となった。

月降水量：油木、世羅、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、生口島、大竹、呉、倉橋では平年より少なく、高野、三次、庄原、東城、八幡、大朝、王泊、加計、甲田、上下、三入、志和では平年よりかなり少なくなった。

月間日照時間：生口島では平年よりかなり多く、東広島、福山、竹原、呉では平年より多く、三次、庄原、油木、世羅、府中、広島、大竹では平年並、高野、大朝、加計、三入、廿日市津田では平年より少なくなった。

11月：上旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、その後は高気圧と低気圧や前線の影響を交互に受け、天気は概ね数日の周期で変化した。

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、9日は湿った空気や前線の影響を受けて、広島で34.0ミ、三入で27.5ミの日降水量を観測した。

中旬：気圧の谷や湿った空気の影響を受ける日が多かったが、降水量は多い所でも八幡で8.0ミ、内黒山で6.5ミなどと少なかった。

下旬：南部は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、北部は寒気や湿った空気の影響を受ける日が多かった。

月平均気温：庄原、加計、広島、生口島、大竹、呉では平年より高く、高野、三次、大朝、油木、三入、世羅、府中、東広島、福山、廿日市津田、竹原では平年並となった。

月降水量：東城、甲田、三入、志和、東広島、福山、広島、竹原、生口島、大竹、呉、倉橋では平年より少なく、高野、三次、庄原、八幡、大朝、油木、王泊、加計、上下、世羅、府中、廿日市津田では平年よりかなり少なくなった。

月間日照時間：高野、生口島では平年よりかなり多く、庄原、大朝、加計、三入、世羅、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、大竹、呉では平年より多く、三次、油木、府中では平年並となった。

12月：湿った空気や気圧の谷の影響を受け、また冬型の気圧配置になる日もあったため、曇りや雨の日が多かった。

上旬：1日から6日は気圧の谷や湿った空気の影響を受ける日が多かった。7日から9日は冬型の気圧配置となって各地で平均気温が平年値より下回り、広島では8日に初雪を観測した。

中旬：冬型の気圧配置や湿った空気の影響で、曇りの日が多かった。八幡では20日に24.5ミ、12日に23.5ミの降水を観測するなど、各地で降水量が平年よりも多かった。

下旬：26日までは湿った空気や気圧の谷の影響を受ける日が多かったが、27日からは冬型の気圧配置となり、北部を中心に大雪となった。広島では29日に初冠雪、30日に初霜と初氷を観測した。

月平均気温：高野、三次、庄原、大朝、加計、府中、東広島、廿日市津田、生口島、大竹では平年よりかなり高く、油木、三入、世羅、福山、広島、竹原、呉では平年より高くなった。

月降水量：甲田、上下、三入、志和、東広島、福山、廿日市津田、広島、大竹、呉、倉橋では平年よりかなり多く、高野、三次、庄原、東城、八幡、大朝、油木、王泊、加計、世羅、府中、竹原、生口島では平年より多くなった。

月間日照時間：高野、生口島では平年より少なく、三次、庄原、大朝、油木、加計、三入、世羅、府中、東広島、福山、廿日市津田、広島、竹原、大竹、呉では平年よりかなり少なくなった。

[月別気象状況]

(広島地方気象台)

区 分 平成30年	降水量	相対湿度		風 向 ・ 風 速						
	合計	平均	最小	平均	最 大			最大瞬間		
	(mm)	(%)	(%)	(m/s)	(m/s)	風向	起日	(m/s)	風向	起日
1月	55.0	64	24	3.0	11.6	WNW	23 日	20.1	NW	23 日
2月	35.0	57	17	3.3	12.0	NNW	11 日	17.0	NNW	17 日
3月	201.0	58	14	3.7	15.1	N	5 日	20.1	SW	1 日
4月	126.0	55	9	3.3	10.7	WNW	7 日	16.6	WSW	7 日
5月	209.0	60	11	3.1	12.4	W	3 日	21.1	W	3 日
6月	185.0	67	26	2.9	10.5	SSW	28 日	16.8	SSW	28 日
7月	492.0	65	32	3.0	12.6	S	4 日	22.0	SSE	4 日
8月	47.0	59	16	3.6	12.9	SSW	24 日	19.3	SSW	24 日
9月	365.0	70	28	3.4	16.6	N	30 日	26.0	N	30 日
10月	35.0	61	25	3.5	15.7	S	6 日	26.2	S	6 日
11月	38.0	61	23	3.6	11.8	NNW	22 日	16.6	NNW	22 日
12月	90.5	68	27	3.0	11.4	N	4 日	17.4	NNW	27 日
年	1878.5	62	9	3.3	16.6	N	9/30	26.2	S	10/6

□ ： 最大値（日付は、最大値を記録した日を表す）

○ ： 最小値

[年別気象状況]

(広島地方気象台)

区 分	降水量	相対湿度		風 向 ・ 風 速						
	合計	平均	最小	平均	最 大			最大瞬間		
	(mm)	(%)	(%)	(m/s)	(m/s)	風向	起日	(m/s)	風向	起日
平成26年	1573.0	68	8	3.4	17.6	NNE	10/13	27.4	N	10/13
平成27年	1641.0	65	11	3.2	16.0	S	8/25	27.7	S	8/25
平成28年	2124.0	65	13	3.2	13.4	WNW	1/18	22.2	S	10/5
平成29年	1619.5	63	9	3.2	15.7	N	9/17	29.1	N	9/17
平成30年	1878.5	62	9	3.3	16.6	N	9/30	26.2	S	10/6

[降水量 観測所別]

広島地方気象台における平成30年の年間降水量は、1878.5ミリ（平年値の122%）で平年並だった。月別に見ると、3月・7月・9月・12月は平年よりかなり多く、1月・5月は平年より多く、4月・6月は平年並、2月・8月・10月・11月は平年より少なかった。

（単位：ミリ）

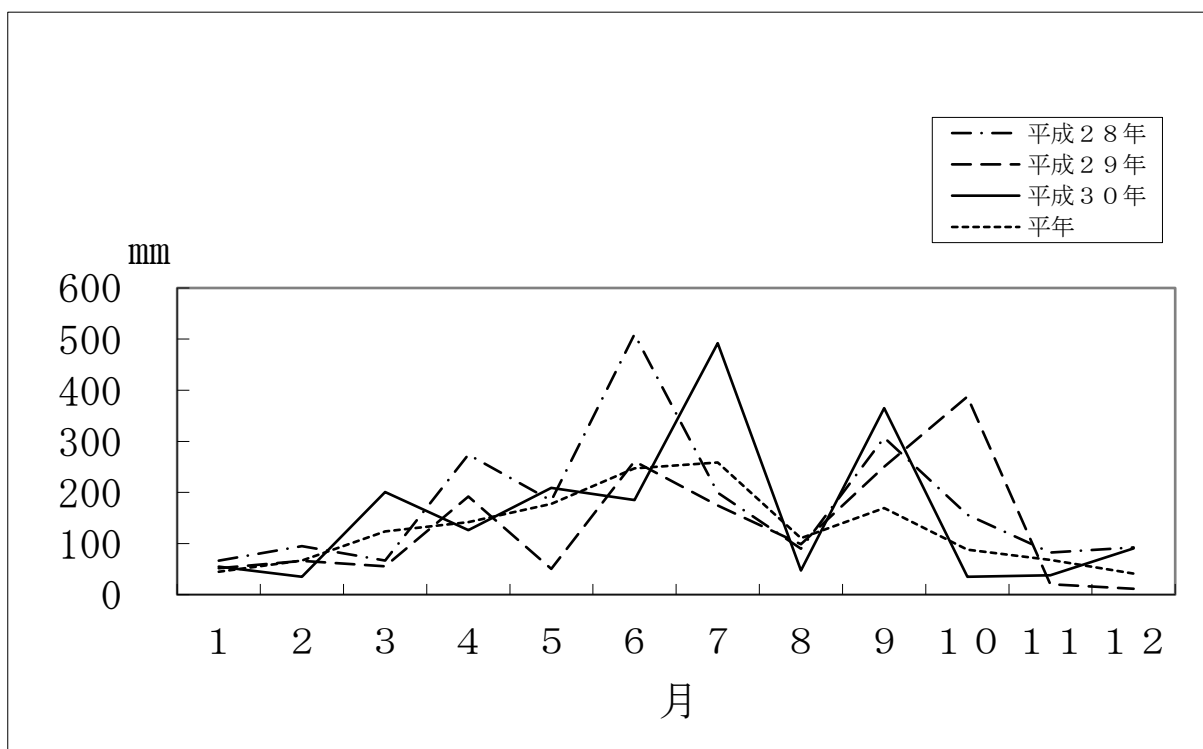
月 別 観測所名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年 間
中消防署	52	29	184	116	183	156	464	49	323	26	33	87	1.702
温品消防出張所	47	27	168	103	177	152	453	45	337	28	31	86	1.654
似島消防出張所	44	29	162	101	187	160	471	25	310	33	25	79	1.626
西消防署	×	33	188	114	180	171	446	53	324	31	37	89	1.666
祇園消防出張所	53	30	188	127	201	168	442	57	330	35	35	86	1.752
上安消防出張所	63	47	187	145	196	216	439	48	403	43	33	97	1.917
安佐南署消防署	50	31	183	124	184	175	425	41	336	33	34	79	1.695
沼田消防出張所	59	48	190	156	213	189	426	38	366	37	27	92	1.841
戸山分団阿戸車庫	67	56	175	116	167	225	423	36	385	28	20	98	1.796
口田分団矢口車庫	54	29	178	121	182	156	446	45	351	34	37	87	1.720
高陽消防出張所	51	31	186	125	178	187	460	64	351	33	38	90	1.794
狩小川分団湯坂車庫	53	27	162	106	167	170	509	53	328	37	34	89	1.735
三入分団桐原車庫	68	41	200	149	193	207	445	78	387	35	35	94	1.932
三田分団畑車庫	43	21	134	94	161	164	374	75	245	32	32	53	1.428
志屋分団梶名車庫	71	39	187	109	162	204	351	77	358	33	29	113	1.733
大林分団大杉車庫	72	43	193	130	188	199	429	86	378	31	33	104	1.886
亀山分団大畑車庫	84	66	178	130	179	216	450	66	397	27	24	110	1.927
亀山分団亀山車庫	64	46	177	135	183	219	428	81	334	31	32	101	1.831
亀山分団亀山西車庫	61	54	175	126	178	212	444	64	351	26	26	100	1.817
久地分団久地車庫	69	45	169	117	159	209	408	51	395	30	23	108	1.783
小河内分団堂原町内車庫	87	72	164	110	178	306	382	36	384	25	20	118	1.882
安佐消防出張所	89	72	176	128	184	216	407	60	402	29	19	114	1.896
鈴張分団鈴張西車庫	×	73	171	116	188	218	387	64	407	26	23	132	1.805
安芸区役所	45	26	139	94	195	137	504	47	303	31	27	82	1.630
安芸区中野出張所	52	27	169	98	207	162	480	61	325	44	29	87	1.741
瀬野分団中原車庫	51	30	96	103	198	161	491	42	309	46	25	81	1.633
安芸区阿戸出張所	54	31	166	5	145	145	498	39	319	47	25	91	1.565
安芸区矢野出張所	47	24	144	93	189	146	517	55	315	44	27	83	1.684
佐伯消防署	59	43	203	121	224	176	436	38	352	32	28	96	1.808
水内分団堂原車庫	104	83	183	116	181	230	434	44	436	38	27	123	1.999
上水内分団多田車庫	96	90	209	164	295	304	474	52	449	40	31	119	2.323
広島地方気象台 （上八丁堀）	55.0	35.0	201.0	126.0	209.0	185.0	492.0	47.0	365.0	35.0	38.0	90.5	1878.5
広島地方気象台 平年値	44.6	66.6	123.9	141.7	177.6	247.0	258.6	110.8	169.5	87.9	68.2	41.2	1,537.6

注1：広島地方気象台（中区上八丁堀）の平年値は、統計期間1981年～2010年の値である。

注2：上覧の×は、計器故障のため、不明を意味する。

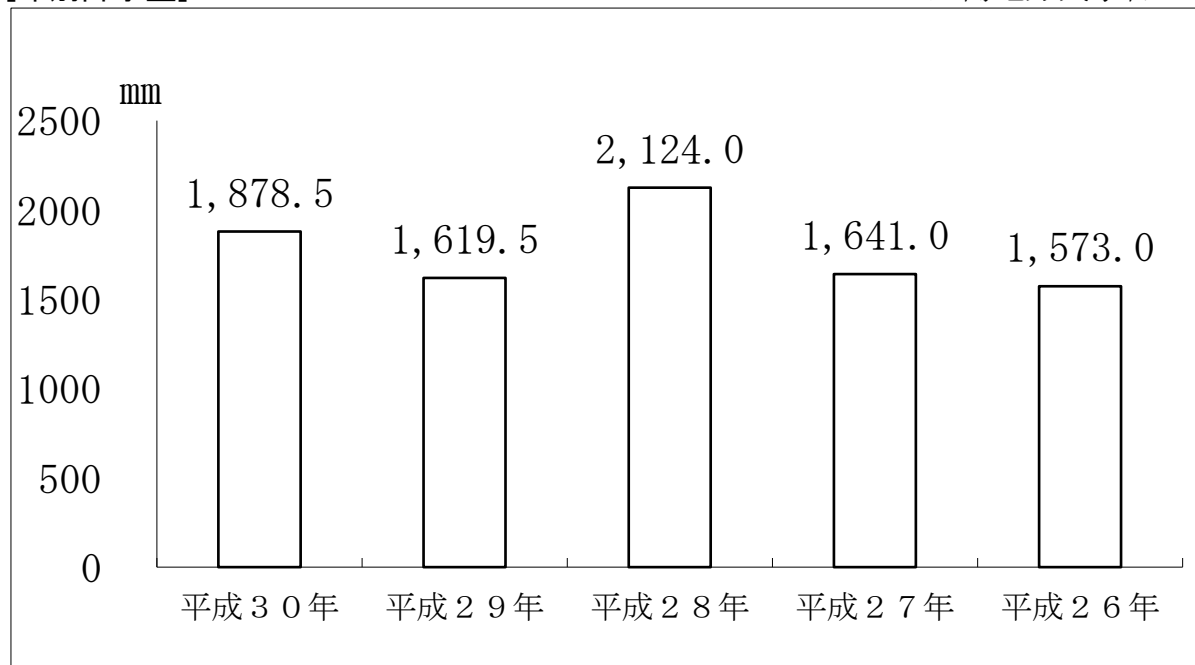
[月別降水量]

広島地方気象台



[年別降水量]

広島地方気象台



3 気象注意報・警報等の発表状況

平成30（2018）年中に広島地方気象台から広島市に対して発表された気象に関する特別警報・警報・注意報等、及び広島市から発表された火災警報は下表のとおりである。

種 類 \ 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
特別警報	暴風雪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雨特別警報	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	暴風特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	波浪特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	高潮特別警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	合 計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
警 報	暴風雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	大雨警報	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	6
	洪水警報	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	3
	暴風警報	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	4
	大雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	波浪警報	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	4
	高潮警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	合 計	0	0	0	0	0	0	8	2	7	0	0	0	17
注 意 報	大雨注意報	-	-	2	1	2	5	8	5	5	-	-	-	28
	大雪注意報	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	風雪注意報	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
	雷注意報	2	1	2	3	7	7	17	14	8	4	1	4	70
	強風注意報	3	7	5	4	1	-	3	2	4	4	2	2	37
	波浪注意報	4	4	5	4	1	-	3	2	4	4	2	2	35
	洪水注意報	-	-	-	1	1	1	5	1	2	-	-	-	11
	高潮注意報	-	-	-	-	-	2	5	6	7	5	1	2	28
	濃霧注意報	4	1	-	-	-	2	-	-	-	1	1	2	11
	乾燥注意報	8	7	5	5	6	4	-	2	2	9	5	3	56
	なだれ注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	低温注意報	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	霜注意報	-	-	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	着雪注意報	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	着氷注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	融雪注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	合 計	31	30	29	19	18	21	41	32	32	27	12	16	308
広島県気象情報	一般気象情報	10	5	5	-	9	11	45	24	15	-	3	7	134
	台風情報	-	-	-	-	-	-	16	16	20	6	-	-	58
	天候情報	1	-	-	1	1	-	1	1	1	-	-	-	6
	潮位情報	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	4
	黄砂情報	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	竜巻注意情報	-	-	-	-	2	2	1	1	4	-	-	-	10
	高温注意情報	-	-	-	-	-	-	20	23	1	-	-	-	44
	スモッグ気象情報	-	-	-	-	1	3	16	2	-	-	-	-	22
	記録的短時間大雨情報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	合 計	11	5	5	2	13	17	100	68	42	6	3	7	279
火 災 警 報		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

注1：注意報は発表してから解除まで、または警報に切り替えるまでを1回としている。
 また同様に、警報は発表してから解除、または注意報に切り替えるまでを1回として計上した。
 特別警報警報も発表してから解除、または警報・注意報に切り替えるまでを1回として計上した。

注2：一般気象情報とは、大雨・大雪・強風（暴風）・突風・高波・雷・降ひょうなどの気象情報である。
 天候情報とは、高温・低温・日照不足・少雨などの気象情報である。

4 梅雨期の状況

6月上旬前半は晴れた日が多かった。上旬後半から6月末にかけては一時的に梅雨前線が日本の南へ南下して晴れた時期もあったが、梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。

7月上旬は梅雨前線が中国地方付近に位置しやすく、また前線の活動も活発となったため、5日から7日にかけては中国地方の広い範囲で記録的な大雨となった。7月9日以降は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、連日の猛暑日となった所もあって、少雨多照となった。

【梅雨入り】

6月5日ごろ「早い」

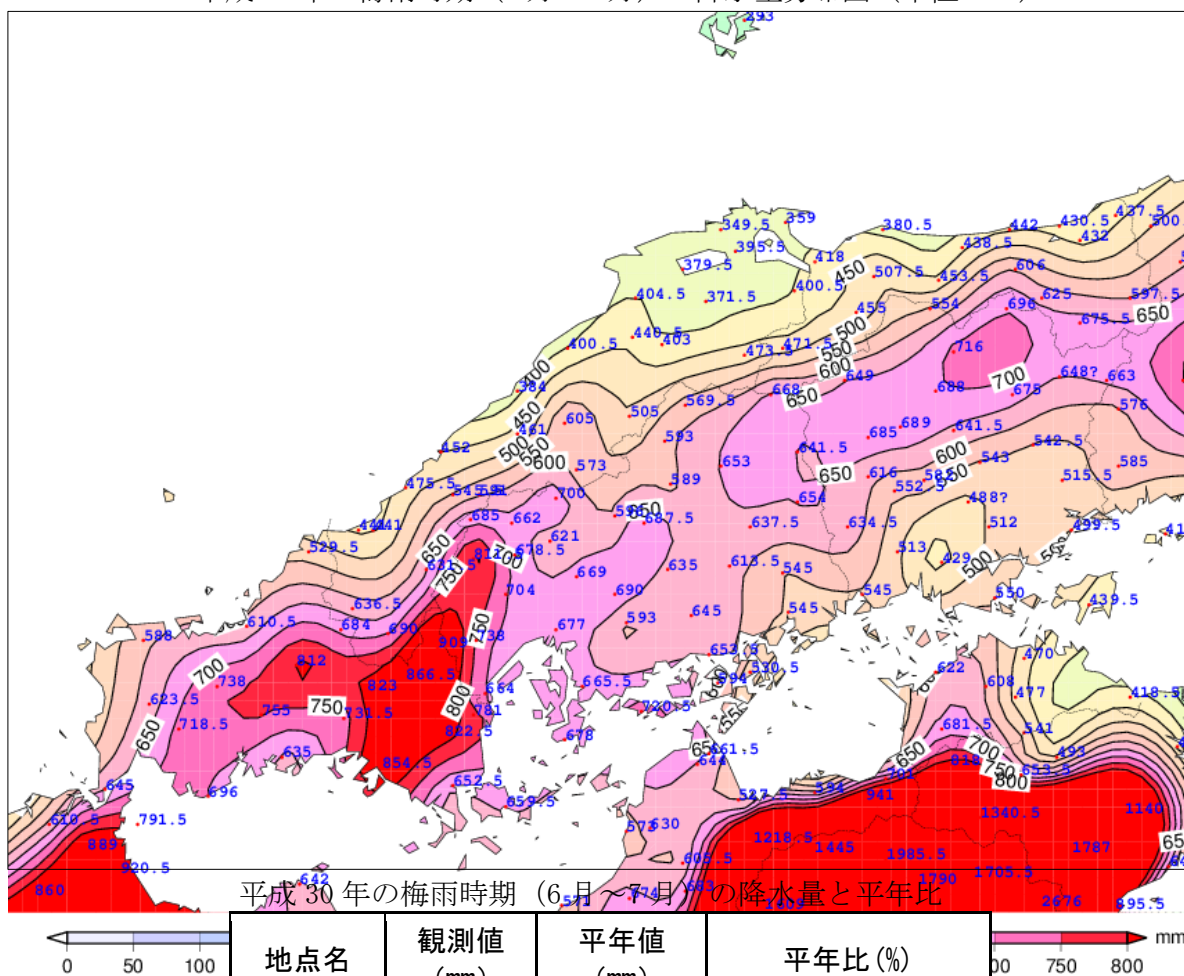
- ・平年(6月 7日ごろ)より 2日早い
- ・昨年(6月20日ごろ)より15日早い

【梅雨明け】

7月9日ごろ「かなり早い」

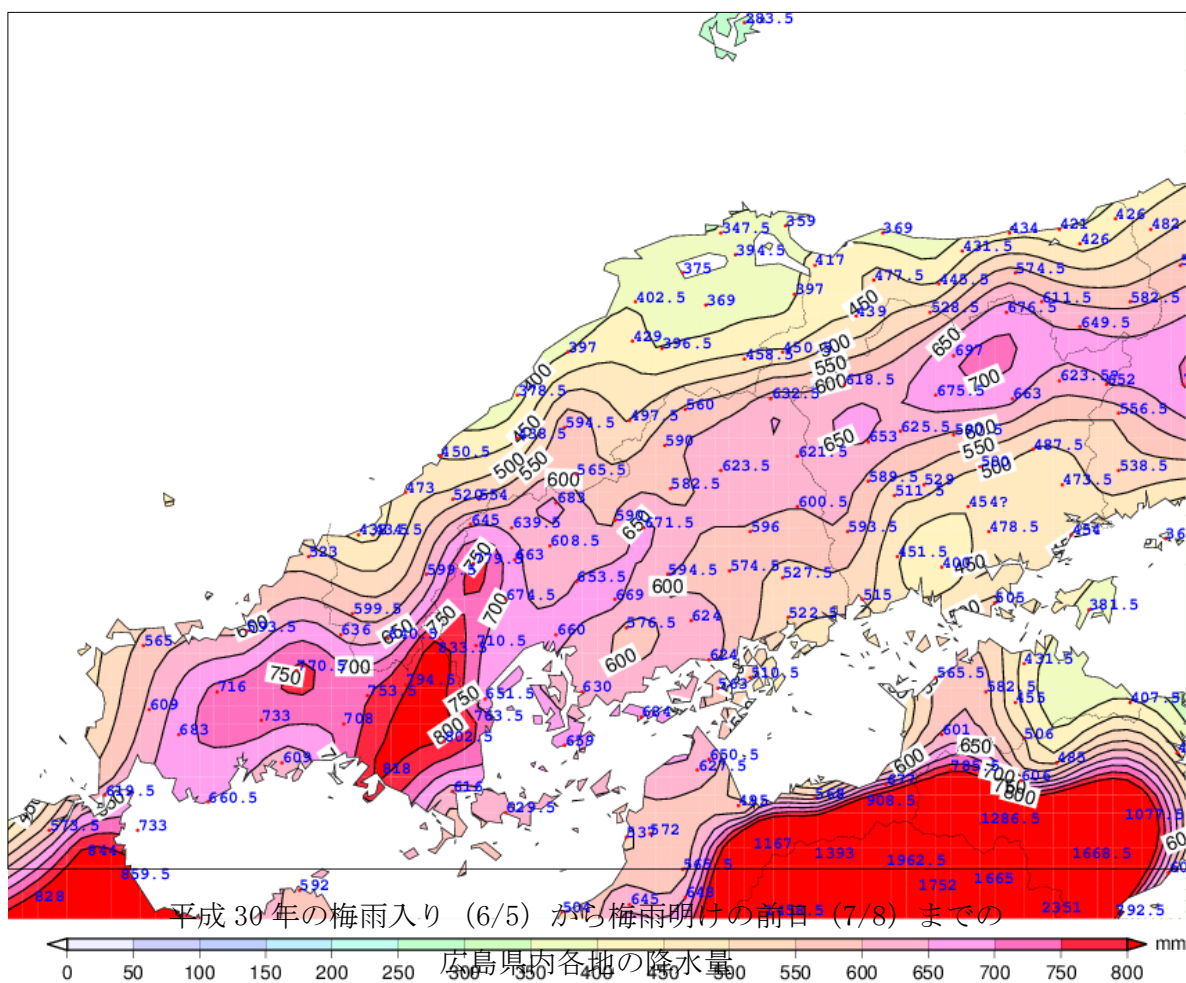
- ・平年(7月21日ごろ)より12日早い
- ・昨年(7月13日ごろ)より 4日早い

平成 30 年の梅雨時期（6 月～7 月）の降水量分布図（単位：mm）



平成 30 年の梅雨入り（6/5）から梅雨明けの前日（7/8）までの降水量分布図

（単位：mm）



地点名	観測値 (mm)	地点名	観測値 (mm)	地点名	観測値 (mm)
広島 (気象官署)	660.0	呉 (特別地域気 象観測所)	630.0	福山 (特別地域気 象観測所)	522.5
高野	560.0	王泊	639.5	佐伯湯来	674.5
道後山	632.5	加計	663.0	志和	669.0
君田	590.0	都志見	608.5	東広島	576.5
三次	582.5	甲田	671.5	本郷	624.0
庄原	623.5	上下	596.0	廿日市津田	710.5
東城	621.5	内黒山	779.5	竹原	624.0
八幡	645.0	三入	653.5	生口島	510.5
大朝	683.0	安宿	594.5	大竹	651.5
美土里	590.0	世羅	574.5	倉橋	659.0
油木	600.5	府中	527.5	呉市蒲刈	684.0

5 平成30年7月豪雨の状況

(1) はじめに

広島県では、台風第7号や梅雨前線、暖かく湿った空気の影響により、7月3日から8日にかけて大雨となった。特に6日夜のはじめ頃から7日明け方にかけては県内各地で非常に激しい雨が降り、広島県内では運用開始以来初となる「大雨特別警報」*を22市町（安芸太田町を除く）に発表した。

なお、気象庁は、平成30年6月28日から7月8日に発生した豪雨について、「平成30年7月豪雨」と名称を定めた。

*平成25年8月30日から運用開始

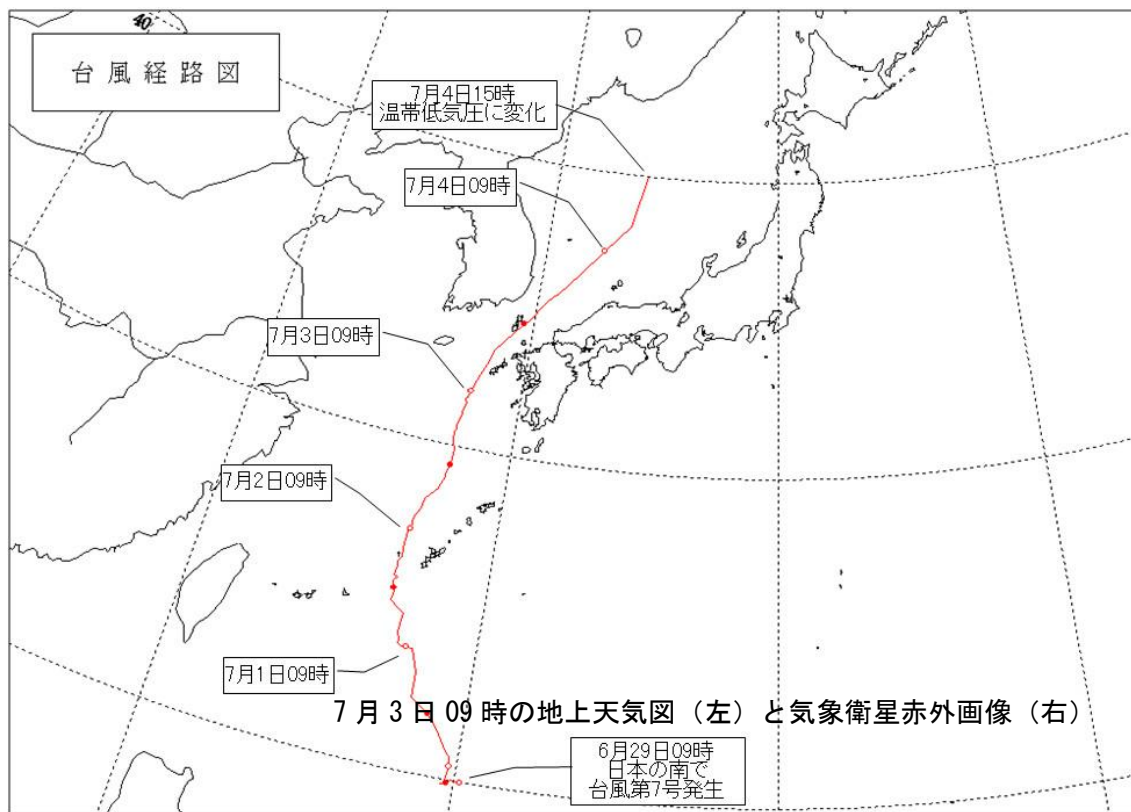
(2) 気象概況

6月29日09時に日本の南で発生した台風第7号は、7月3日夜、長崎県対馬市付近を北北東へ進み、4日03時には山口県萩市の北北西約140キロに達した。台風は同日15時に日本海中部で温帯低気圧に変わったが、梅雨前線が西日本に停滞し、また、暖かく湿った空気が流れ込んだため、広島県では3日から8日にかけて大雨となった。

3日00時から8日24時までの総降水量は、広島で474.5ミリ、佐伯湯来で429.5ミリ、三入で423.0ミリを観測し、期間中の最大1時間降水量は、広島で49.5ミリ、佐伯湯来で27.5ミリ、三入で33.0ミリを観測した。

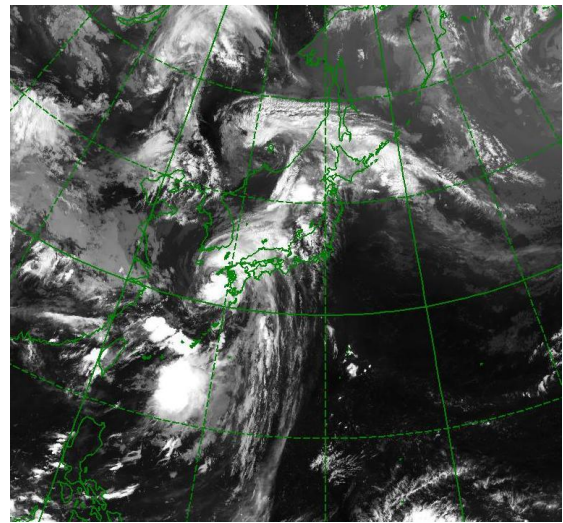
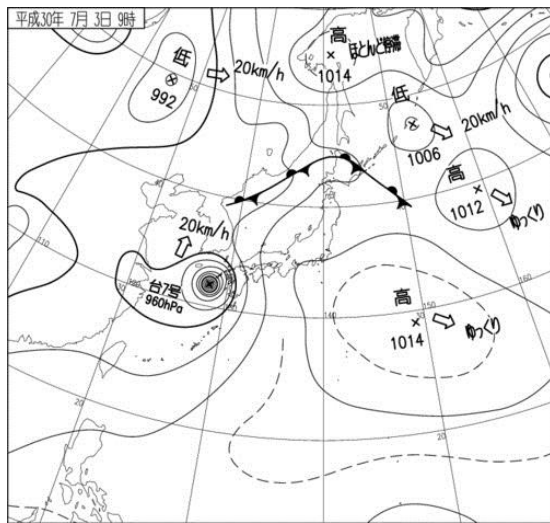
(3) 気象資料

ア 台風経路図

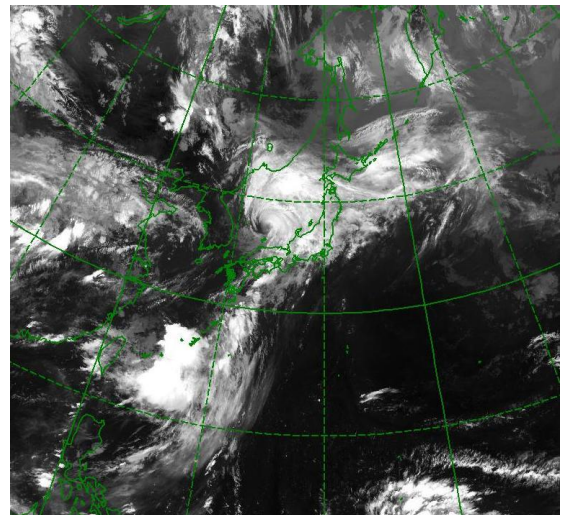
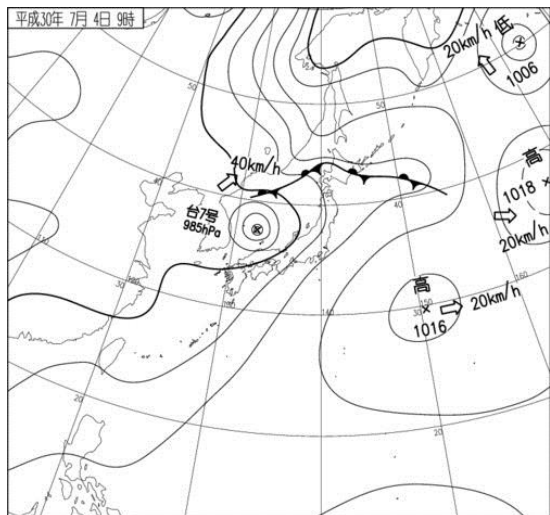


台風第7号の台風経路図

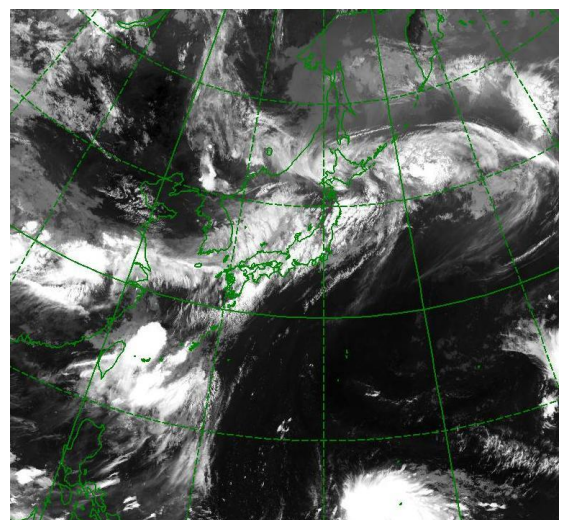
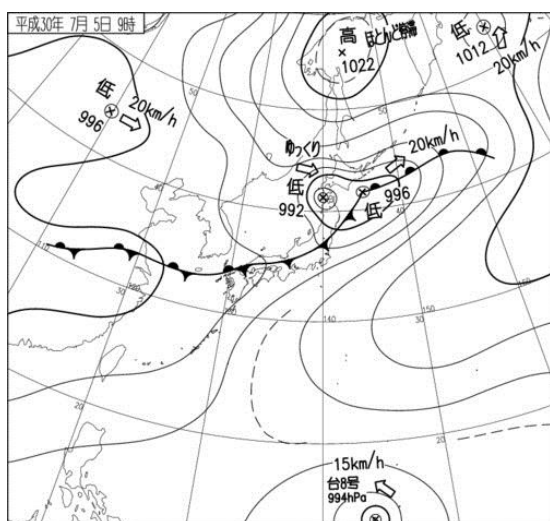
イ 地上天気図及び気象衛星画像（7月3日09時～8日09時）



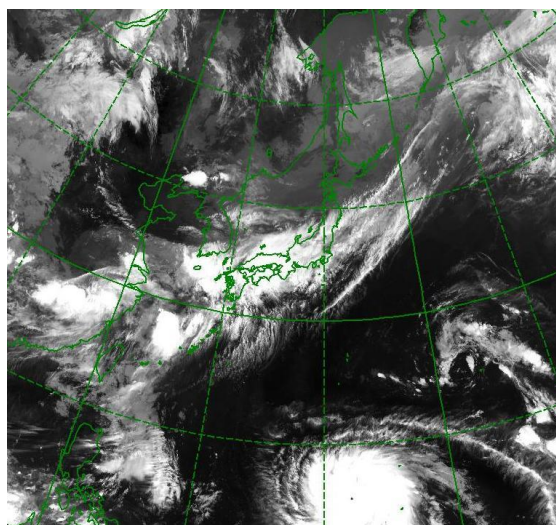
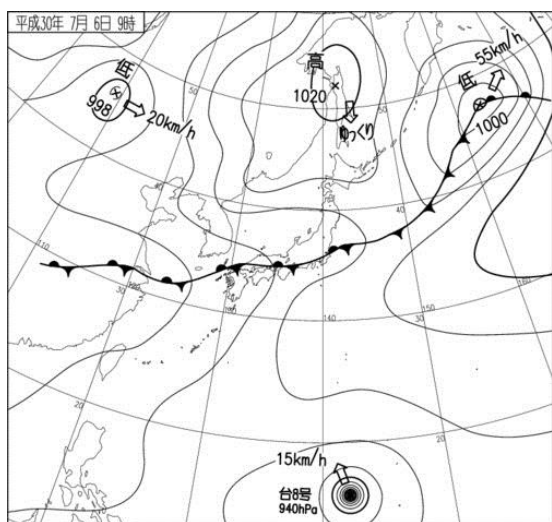
7月3日09時の地上天気図（左）と気象衛星赤外面像（右）



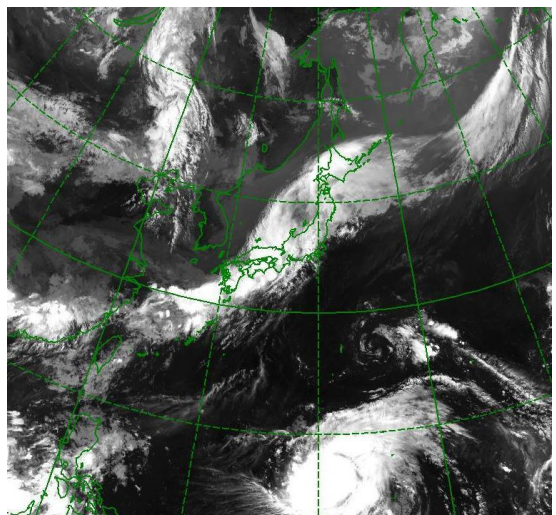
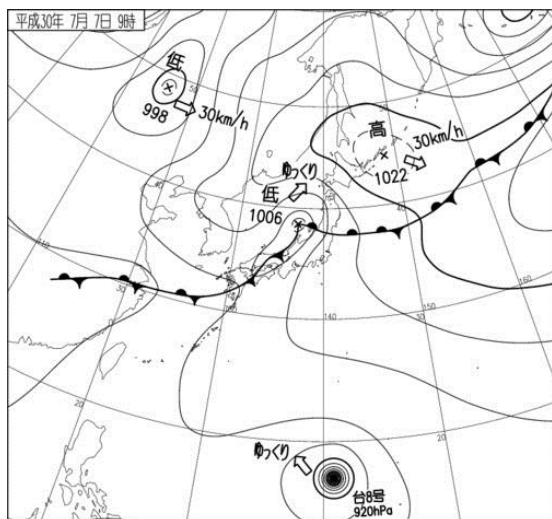
7月4日09時の地上天気図（左）と気象衛星赤外面像（右）



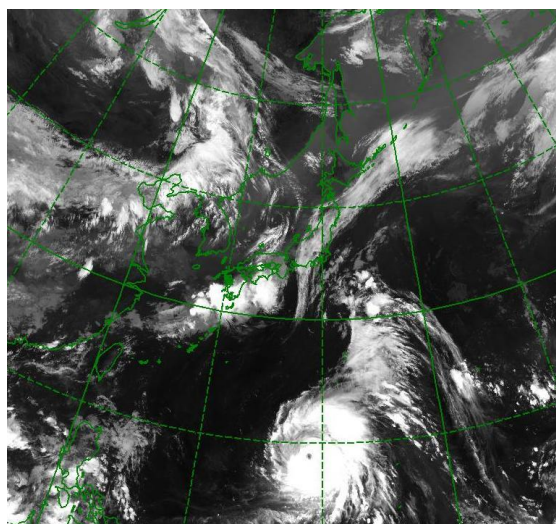
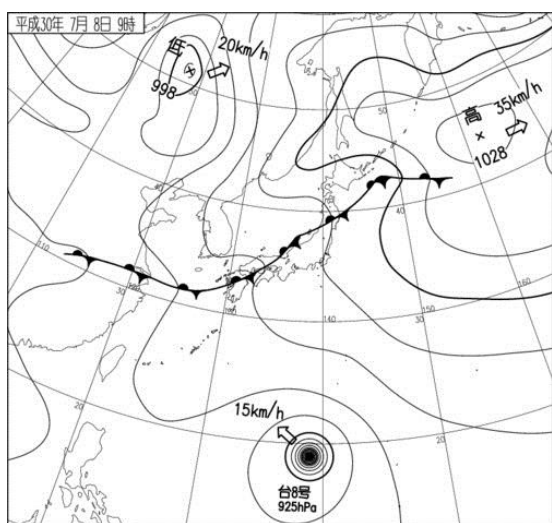
7月5日09時の地上天気図（左）と気象衛星赤外面像（右）



7月6日09時の地上天気図（左）と気象衛星赤外面像（右）

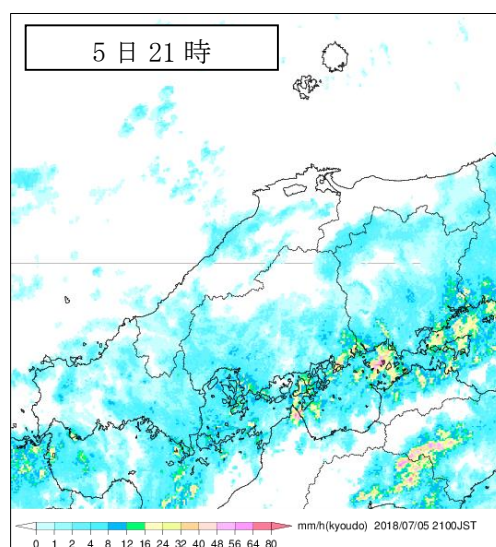
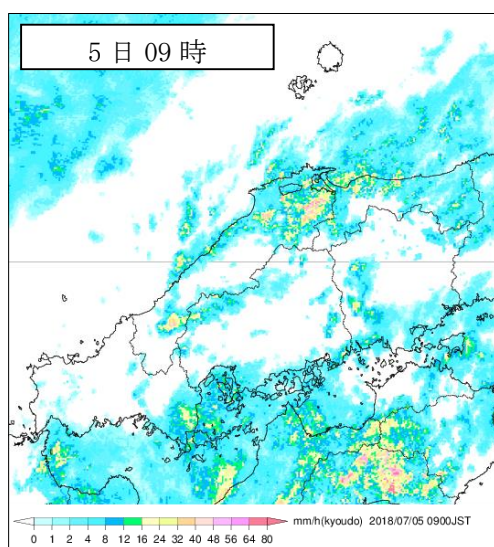
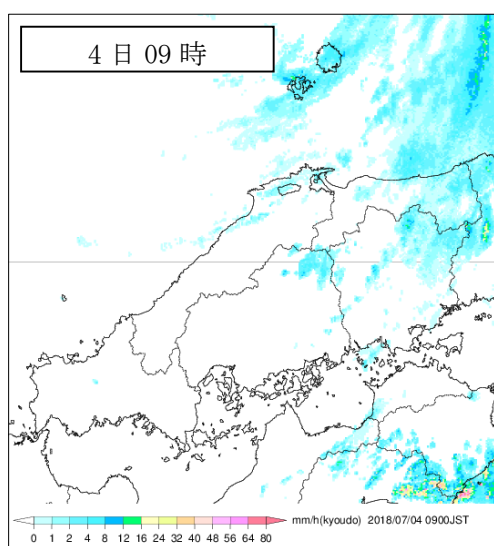
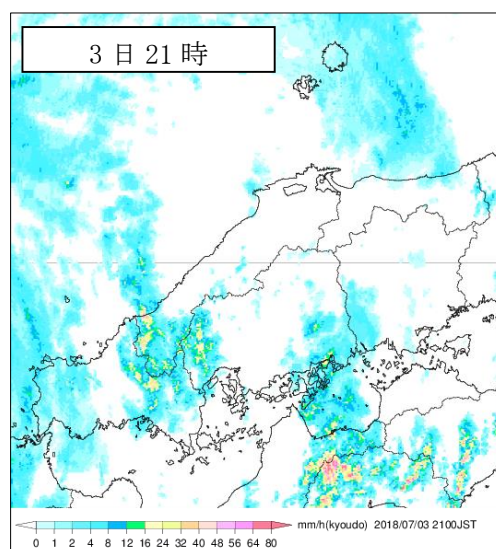
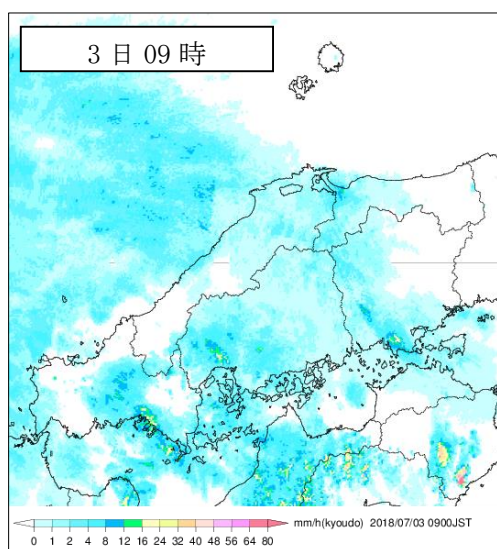


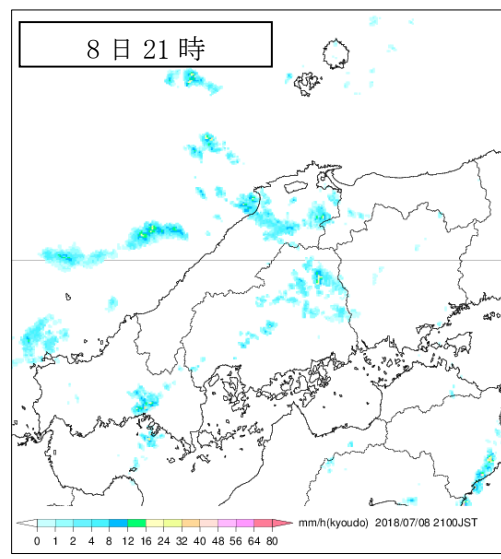
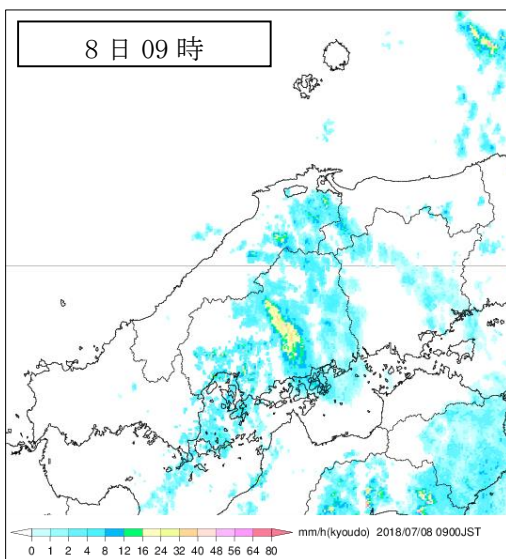
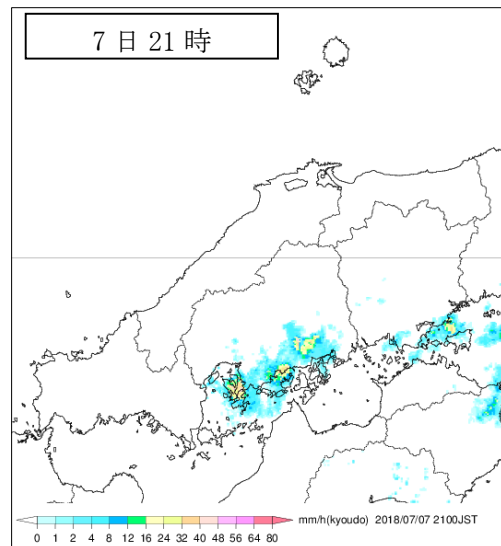
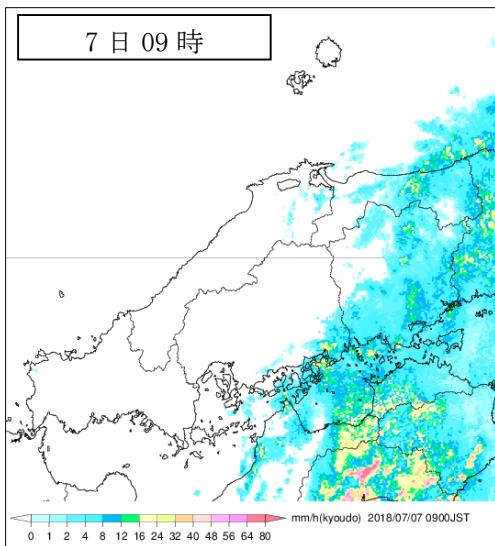
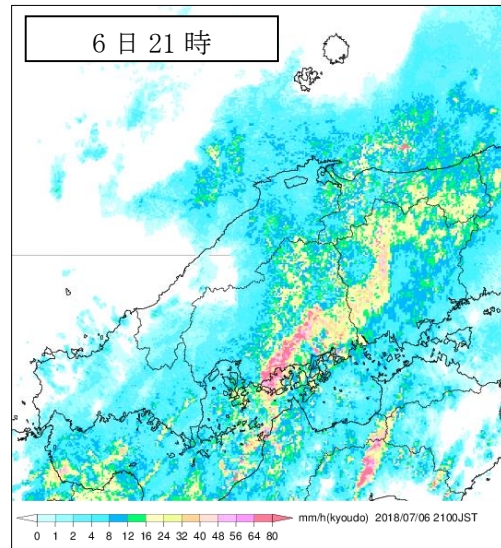
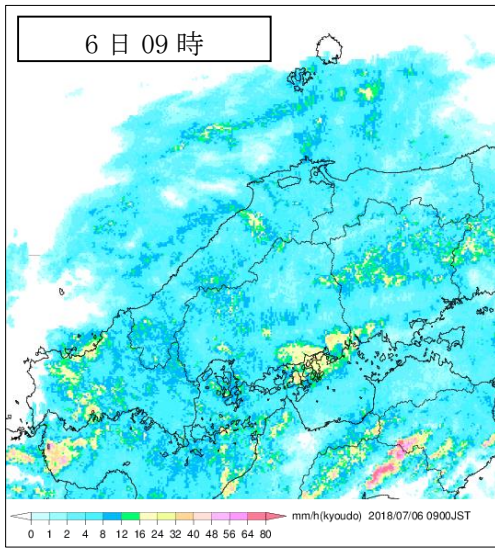
7月7日09時の地上天気図（左）と気象衛星赤外面像（右）



7月8日09時の地上天気図（左）と気象衛星赤外面像（右）

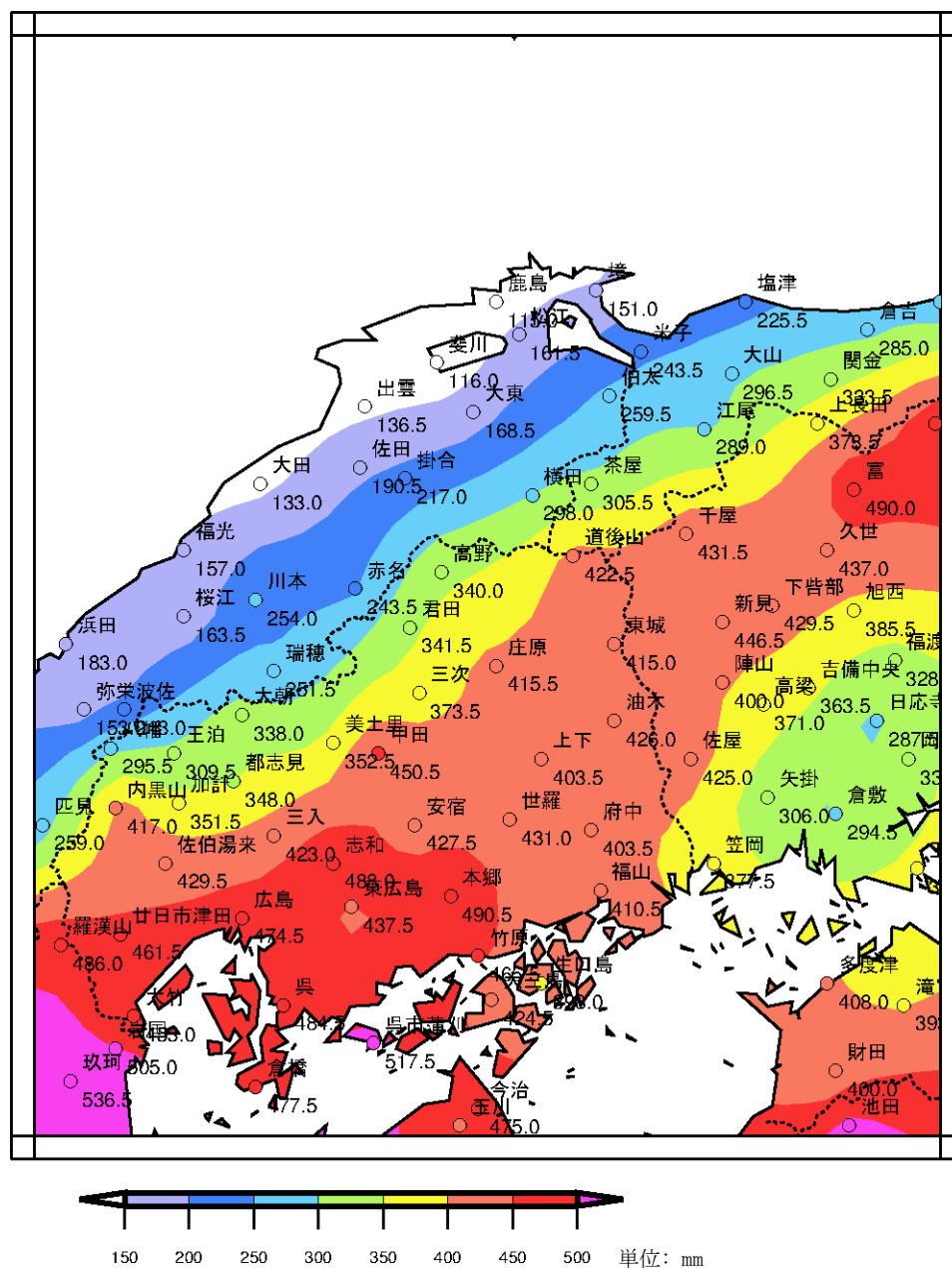
ウ 気象レーダー画像 (7月3日09時～8日21時)





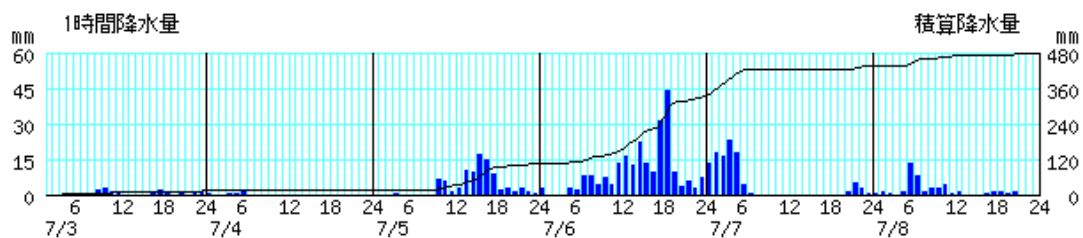
工 期間降水量図

アメダス期間降水量 (7月3日00時～8日24時)

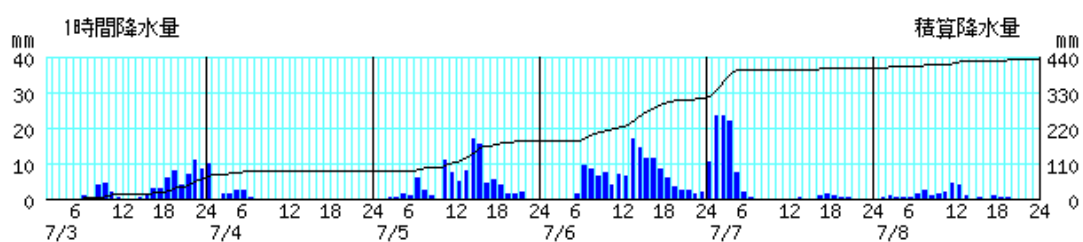


オ アメダス時系列グラフ (7月3日00時～8日24時)

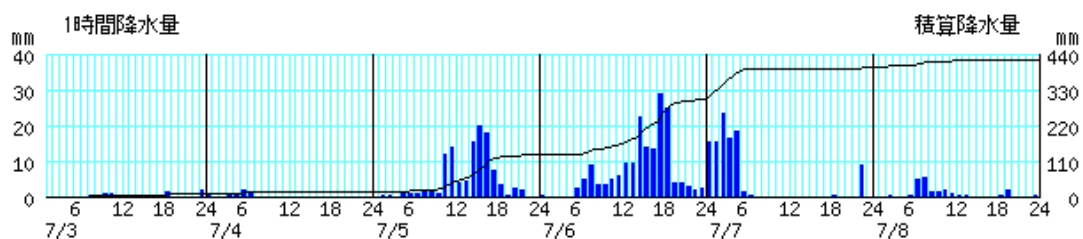
広島



佐伯湯来



三入



※棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す。横軸は時刻を示す。

カ 期間の日別降水量 (7月3日00時～8日24時)

単位: mm

市町村名	地点名	7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	期間合計
広島市中区	広島(ヒロシマ)	13.5	2.5	87.0	229.0	101.0	41.5	474.5
広島市佐伯区	佐伯湯来(サエキキ)	65.0	18.5	96.0	132.0	94.5	23.5	429.5
広島市安佐北区	三入(ミイリ)	8.0	6.0	113.0	173.5	101.0	21.5	423.0

キ 期間最大1時間降水量 (7月3日00時～8日24時)

市町村名	地点名	値 (mm)	起時
広島市中区	広島(ヒロシマ)	49.5	7月6日 18時36分
広島市安佐北区	三入(ミイリ)	33.0	7月6日 18時29分
広島市佐伯区	佐伯湯来(サエキキ)	27.5	7月7日 02時12分

ク 7月として1位を更新した地点（アメダス値 統計開始から10年目以降）
日降水量

市町村名	地点名	値（mm）	起日	統計開始年
広島市中区	広島（ヒロシマ）	229.0	7月6日	1976年
広島市安佐北区	三入（ミイリ）	173.5	7月6日	1976年

注：広島値はアメダス値を掲載しており、官署の統計とは異なる

24 時間降水量

市町村名	地点名	値（mm）	起時	統計開始年
広島市安佐北区	三入（ミイリ）※	263.5	7月7日 05時40分	1976年
広島市佐伯区	佐伯湯来（サエキユキ）	220.0	7月7日 05時40分	2006年
広島市中区	広島（ヒロシマ）※	313.0	7月7日 05時50分	1976年

※年間を通じての1位も更新

注：広島値はアメダス値を掲載しており、官署の統計とは異なる

48 時間降水量

市町村名	地点名	値（mm）	起時	統計開始年
広島市安佐北区	三入（ミイリ）※	374.5	7月7日 06時40分	1976年
広島市佐伯区	佐伯湯来（サエキユキ）※	314.0	7月7日 06時10分	2006年
広島市中区	広島（ヒロシマ）※	407.0	7月7日 09時00分	1976年

※年間を通じての1位も更新

注：広島値はアメダス値を掲載しており、官署の統計とは異なる

72 時間降水量

市町村名	地点名	値（mm）	起時	統計開始年
広島市安佐北区	三入（ミイリ）	393.5	7月8日 09時40分	1976年
広島市佐伯区	佐伯湯来（サエキユキ）※	323.5	7月8日 04時00分	2006年
広島市中区	広島（ヒロシマ）※	444.0	7月8日 09時20分	1976年

※年間を通じての1位も更新

注：広島値はアメダス値を掲載しており、官署の統計とは異なる

ケ 広島地方気象台が執った措置（7月3日～8日発表分）

広島市の特別警報・警報・注意報の発表状況

●:発表 ▼:警報から注意報 ○:継続 解:解除

浸:浸水害 土:土砂災害 土浸:土砂災害、浸水害

斜体字:発表 下線:特別警報から警報

u003Cp>

発表時刻	暴風雪特別警報	大雨特別警報	暴風特別警報	大雪特別警報	波浪特別警報	高潮特別警報	暴風雪警報	大雨警報	洪水警報	暴風警報	大雪警報	波浪警報	高潮警報	大雨注意報	大雪注意報	風雪注意報	雷注意報	強風注意報	波浪注意報	融雪注意報	洪水注意報	高潮注意報	濃霧注意報	乾燥注意報	なだれ注意報	低温注意報	霜注意報	着水注意報	着雪注意報
2018/ 7/ 3 4:19																	●	●	●										
2018/ 7/ 3 10:29								土									○	○	○		●	●							
2018/ 7/ 3 14:43								土									○	○	○		○	○							
2018/ 7/ 4 3:24								土									○	○	○		解	解							
2018/ 7/ 4 9:39								解									○	○	○										
2018/ 7/ 4 15:28																	解	解	解										
2018/ 7/ 4 21:37																	●												
2018/ 7/ 5 1:34														●			○												
2018/ 7/ 5 8:08														○			○												
2018/ 7/ 5 9:21								土									○												
2018/ 7/ 5 12:38								土									○				●								
2018/ 7/ 5 15:37								土									○				○								
2018/ 7/ 5 18:33								土	●								○												
2018/ 7/ 5 18:43								土	○								○												
2018/ 7/ 5 21:46								土									○				▼								
2018/ 7/ 6 2:41								土									○				○								
2018/ 7/ 6 5:40								土									○				○								
2018/ 7/ 6 10:06								土	●								○												
2018/ 7/ 6 13:39								土	○								○												
2018/ 7/ 6 14:39								土	○								○												
2018/ 7/ 6 18:13								土	○								○												
2018/ 7/ 6 18:36								土	○								○												
2018/ 7/ 6 19:01								土	○								○												
2018/ 7/ 6 19:40		土						○									○												
2018/ 7/ 6 20:25		土						○									○												
2018/ 7/ 6 20:46		土						○									○												
2018/ 7/ 6 21:37		土						○									○												
2018/ 7/ 7 2:52		土						○									○												
2018/ 7/ 7 10:50								土	○								○												
2018/ 7/ 7 15:35								土									○				▼								
2018/ 7/ 7 19:06								土									○				○								
2018/ 7/ 7 22:19								土									○				○								
2018/ 7/ 8 4:25								土									○				○								
2018/ 7/ 8 9:23								土									○				解								
2018/ 7/ 8 10:30								土									○												
2018/ 7/ 8 14:45								土									○												
2018/ 7/ 8 15:55								土									○												
2018/ 7/ 8 23:32								土									解												

※大雨警報は、7月9日4時23分まで継続

広島県土砂災害警戒情報（広島県と共同発表）

発表日時		番号	警戒対象地域（*印は、新たに発表対象となった市町村を示す）、警戒解除地域
7月5日	17時15分	第1号	（警戒対象地域） 庄原市*
7月6日	1時35分	第2号	（警戒解除地域） 庄原市
	14時05分	第1号	（警戒対象地域） 広島市*
	14時25分	第2号	（警戒対象地域） 広島市 廿日市市*
	14時40分	第3号	（警戒対象地域） 広島市 庄原市* 廿日市市 安芸高田市* 安芸太田町* 北広島町*
	15時10分	第4号	（警戒対象地域） 広島市 三次市* 庄原市 大竹市* 廿日市市 安芸高田市 安芸太田町 北広島町
	17時35分	第5号	（警戒対象地域） 広島市 三次市 庄原市 大竹市 廿日市市 安芸高田市 府中町* 海田町* 坂町* 安芸太田町 北広島町 神石高原町*
	17時50分	第6号	（警戒対象地域） 広島市 竹原市* 三次市 庄原市 大竹市 東広島市* 廿日市市 安芸高田市 府中町 海田町 坂町 安芸太田町 北広島町 神石高原町
	18時10分	第7号	（警戒対象地域） 広島市 呉市* 竹原市 三原市* 三次市 庄原市 大竹市 東広島市 廿日市市 安芸高田市 江田島市* 府中町 海田町 熊野町* 坂町 安芸太田町 北広島町 神石高原町
	18時40分	第8号	（警戒対象地域） 広島市 呉市 竹原市 三原市 尾道市* 府中市* 三次市 庄原市 大竹市 東広島市 廿日市市 安芸高田市 江田島市 府中町 海田町 熊野町 坂町 安芸太田町 北広島町 世羅町* 神石高原町
	19時00分	第9号	（警戒対象地域） 広島市 呉市 竹原市 三原市 尾道市 福山市* 府中市 三次市 庄原市 大竹市 東広島市 廿日市市 安芸高田市 江田島市 府中町 海田町 熊野町 坂町 安芸太田町 北広島町 大崎上島町* 世羅町 神石高原町
7月7日	11時40分	第10号	（警戒対象地域） 広島市 呉市 竹原市 三原市 尾道市 福山市 府中市 三次市 庄原市 大竹市 東広島市 廿日市市 安芸高田市 江田島市 府中町 海田町 熊野町 坂町 大崎上島町 世羅町 神石高原町 （警戒解除地域） 安芸太田町 北広島町
	13時00分	第11号	（警戒対象地域） 広島市 呉市 竹原市 三原市 尾道市 福山市 府中市 庄原市 大竹市 東広島市 廿日市市 江田島市 府中町 海田町 熊野町 坂町 大崎上島町 世羅町 神石高原町 （警戒解除地域） 三次市 安芸高田市
	14時30分	第12号	（警戒対象地域） 広島市 呉市 竹原市 三原市 尾道市 福山市 庄原市 大竹市 東広島市 廿日市市 江田島市 府中町 海田町 熊野町 坂町 大崎上島町 神石高原町 （警戒解除地域） 府中市 世羅町
	22時15分	第13号	（警戒対象地域） 広島市 呉市 竹原市 三原市 尾道市 福山市 庄原市 大竹市 東広島市 廿日市市 江田島市 府中町 海田町 熊野町 坂町 大崎上島町 世羅町* 神石高原町
7月8日	15時30分	第14号	（警戒対象地域） 広島市 呉市 竹原市 三原市 尾道市 東広島市 江田島市 府中町 海田町 熊野町 坂町 大崎上島町 世羅町 （警戒解除地域） 福山市 庄原市 大竹市 廿日市市 神石高原町
7月9日	4時00分	第15号	（警戒解除地域） 広島市 呉市 竹原市 三原市 尾道市 東広島市 江田島市 府中町 海田町 熊野町 坂町 大崎上島町 世羅町

※7月9日分を含む

指定河川洪水予報

太田川上流（太田川河川事務所と共同発表）

発表日時		号数	種類
7月5日	18時45分	第1号	氾濫注意情報
7月6日	0時20分	第2号	氾濫注意情報解除
	14時20分	第1号	氾濫注意情報
7月7日	15時30分	第2号	氾濫注意情報解除

太田川下流（太田川河川事務所と共同発表）

発表日時		号数	種類
7月6日	17時40分	第1号	氾濫注意情報
	18時50分	第2号	氾濫警戒情報
	20時15分	第3号	氾濫警戒情報
7月7日	10時00分	第4号	氾濫注意情報（警戒情報解除）
	11時20分	第5号	氾濫注意情報解除

三篠川（太田川河川事務所と共同発表）

発表日時		号数	種類
7月6日	15時55分	第1号	氾濫警戒情報
	17時10分	第2号	氾濫危険情報
7月7日	13時20分	第3号	氾濫注意情報解除

根谷川（太田川河川事務所と共同発表）

発表日時		号数	種類
7月5日	17時10分	第1号	氾濫警戒情報
	19時30分	第2号	氾濫注意情報（警戒情報解除）
	20時10分	第3号	氾濫注意情報解除
7月6日	15時30分	第1号	氾濫警戒情報
	18時20分	第2号	氾濫危険情報
7月7日	10時30分	第3号	氾濫注意情報解除

竜巻注意情報

この期間、発表はありません。

記録的短時間大雨情報

この期間、発表はありません。

6 台風の状況

(1) 台風の特徴

台風の発生数は29個（平年25.6個）、日本への接近数は16個（平年11.4個）、年間上陸数は5個（平年2.7個）となった。

中国地方（山口県を除く）への接近（鳥取県、島根県、岡山県、広島県のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合）は、台風第7号、台風第12号、台風第15号、台風第20号、台風第21号、台風第24号、台風第25号の7個（平年2.6個）だった。

6月29日にフィリピンの東で発生した台風第7号は、7月2日から3日に東シナ海を北上し、その後北東に向きを変え対馬海峡から日本海に進み、4日15時に日本海中部で温帯低気圧に変わった。

7月24日に日本の南で発生した台風第12号は、小笠原諸島近海から日本の東に北上し、28日には次第に西よりに進路を変え、29日1時頃に三重県伊勢市付近に上陸した。台風は近畿、中国地方を縦断し29日18時前には福岡県豊前市付近に再上陸し、九州地方を横断して東シナ海に進んだ。

8月11日にマリアナ諸島近海で発生した台風第15号は、14日にかけて日本の南を北西進し、15日2時半頃に宮崎県日向市付近に上陸した。その後台風は九州地方を抜け玄界灘に達し、09時に熱帯低気圧に変わった。

8月18日にトラック諸島近海で発生した台風第20号は、23日にかけて日本の南を北西進し、その後北に進み、23日21時頃に徳島県南部に上陸した。台風は瀬戸内海を進み、23日23時半ごろには兵庫県姫路市付近に再上陸し、近畿地方を北上して日本海に抜け、24日21時に温帯低気圧に変わった。

8月28日に南鳥島近海で発生した台風第21号は、9月3日には四国の南に達し、その後、北北東進し、4日12時前に徳島県南部に上陸した。台風は瀬戸内海に抜け、4日14時前には兵庫県神戸市付近に再上陸し、近畿地方を北東に進んで日本海に抜け、5日9時に間宮海峡付近で温帯低気圧に変わった。

9月21日にマリアナ諸島近海で発生した台風第24号は、29日には東シナ海に達して北東に向きを変え、30日に九州南部に接近した後、同日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。台風は近畿地方から東日本を縦断し、10月1日09時、日本の東で熱帯低気圧に変わった。

9月29日にマリアナ諸島近海で発生した台風第25号は、10月5日には東シナ海に達して北進し、チェジュ島付近から北東に向きを変え日本海に進み6日21時に温帯低気圧に変わった。

(2) 台風の発生数

年 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
平成30(2018)年	1	1	1			4	5	9	4	1	3		29
平年値 (1981~2010年)	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

(3) 台風の上陸数

年 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
平成 30(2018) 年							1	2	2				5
平年値 (1981～2010 年)					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7

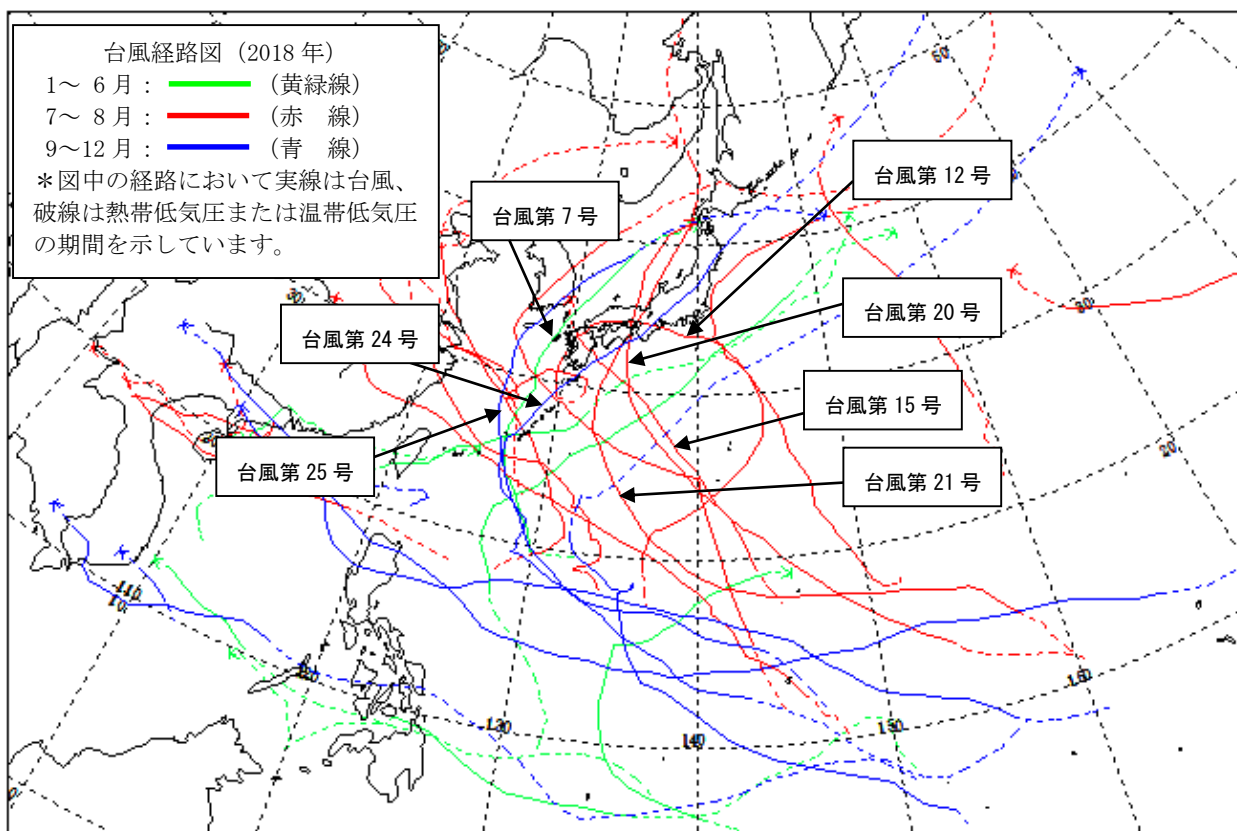
注：台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を「日本に上陸した台風」としている。

(4) 中国地方（山口県を除く）への接近数

年 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
平成 30(2018) 年							2	2	2	1			7
平年値 (1981～2010 年)					0.0	0.3	0.5	0.8	0.9	0.2	0.0		2.6

注：台風の中心が鳥取県、島根県、岡山県、広島県のいずれかの気象官署等から 300km 以内に入った場合を「中国地方（山口県を除く）に接近した台風」としている。

(5) 台風経路図



第2章 地震（広島地方気象台提供）

1 月別・震度別地震回数

2018（平成30）年に、広島市内で震度1以上を観測した地震は15回であった。

震度3を観測した地震は4月に1回、震度2を観測した地震は6月に2回、1月、4月に各1回、震度1を観測した地震は4月に5回と最も多く、2月、3月、8月、9月、11月に各1回発生した。

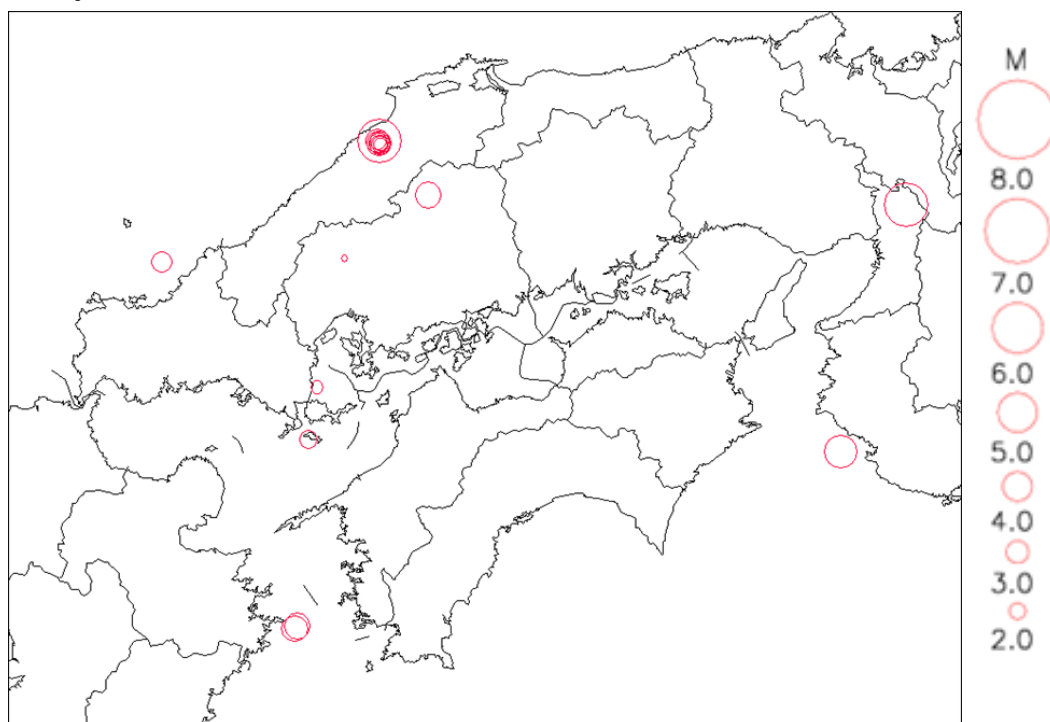
震度1以上の地震回数表（最大震度別）

最大震度 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1		1	1	5				1	1		1		10
2	1			1		2							4
3				1									1
4													0
5弱													0
5強													0
6弱													0
6強													0
7													0
合計	1	1	1	7	0	2	0	1	1	0	1	0	15

2 震度1以上を観測した地震の震央分布図

下図は、2018（平成30）年に広島市内で震度1以上を観測した地震の震央分布を示したもので、1つの○が1つの地震を、図中の○印の大小は地震の規模（M：マグニチュード）を表している。なお、2月19日及び4月9日は、ほぼ同時刻に2つの地震が発生したため震度の分離はできないが、震央は2つで表示している。

広島市内で震度1以上を観測した地震は、島根県西部を震央とした地震が最も多く、7回であった。



2018（平成30）年に広島市内で震度1以上を観測した地震の震央分布図

3 広島市各地の震度

*印は気象庁以外の震度観測点です

通年番号	発震時刻 (年月日分)	震央地名	緯度	経度	深さ	地震の規模:M (マグニチュード)
No1	2018年1月9日05時52分	伊予灘	33° 46.5' N	132° 12.3' E	57km	M4.3
	震度 2:	広島中区羽衣町*, 広島安佐北区可部南*				
	震度 1:	広島中区上八丁堀, 広島南区宇品海岸*, 広島西区己斐*, 広島安佐南区祇園*, 広島安芸区中野*, 広島佐伯区利松*				
No2	2018年2月19日03時31分	豊後水道	32° 54.2' N	132° 09.7' E	40km	M5.0
	2018年2月19日03時31分	豊後水道	32° 53.5' N	132° 08.9' E	39km	M5.0
	震度 1:	広島中区上八丁堀, 広島中区羽衣町*, 広島南区宇品海岸*, 広島西区己斐*, 広島安佐南区祇園*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*, 広島佐伯区利松*				
No3	2018年3月10日20時15分	安芸灘	34° 01.2' N	132° 14.9' E	56km	M3.8
	震度 1:	広島中区羽衣町*, 広島西区己斐*, 広島安佐南区祇園*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*, 広島佐伯区利松*				
No4	2018年4月9日01時32分	島根県西部	35° 11.0' N	132° 35.2' E	12km	M6.1
	震度 3:	広島中区羽衣町*, 広島東区福田*, 広島西区己斐*, 広島安佐南区祇園*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*, 広島佐伯区利松*				
	震度 2:	広島中区上八丁堀, 広島南区宇品海岸*, 広島佐伯区湯来町和田*				
No5	2018年4月9日01時43分	島根県西部	35° 10.0' N	132° 35.4' E	10km	M4.5
	震度 1:	広島中区羽衣町*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*				
No6	2018年4月9日01時56分	島根県西部	35° 11.0' N	132° 34.5' E	10km	M4.8
	震度 1:	広島中区上八丁堀, 広島中区羽衣町*, 広島南区宇品海岸*, 広島西区己斐*, 広島安佐南区祇園*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*, 広島佐伯区利松*				
No7	2018年4月9日02時03分	島根県西部	35° 11.1' N	132° 34.5' E	10km	M4.2
	震度 1:	広島中区羽衣町*, 広島西区己斐*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*				
No8	2018年4月9日02時10分	島根県西部	35° 10.3' N	132° 35.0' E	10km	M4.9
	2018年4月9日02時11分	島根県西部	35° 10.2' N	132° 35.5' E	9km	M3.8
	震度 2:	広島中区羽衣町*, 広島西区己斐*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*				
	震度 1:	広島中区上八丁堀, 広島南区宇品海岸*, 広島安佐南区祇園*, 広島佐伯区利松*, 広島佐伯区湯来町和田*				
No9	2018年4月9日05時05分	島根県西部	35° 10.4' N	132° 35.2' E	9km	M4.6
	震度 1:	広島中区羽衣町*, 広島西区己斐*, 広島安佐南区祇園*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*, 広島佐伯区利松*				
No10	2018年4月23日01時01分	島根県西部	35° 10.1' N	132° 35.4' E	11km	M4.1
	震度 1:	広島中区羽衣町*, 広島西区己斐*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*				
No11	2018年6月18日07時58分	大阪府北部	34° 50.6' N	135° 37.3' E	13km	M6.1
	震度 2:	広島安佐南区祇園*				
	震度 1:	広島中区上八丁堀, 広島南区宇品海岸*, 広島西区己斐*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*				
No12	2018年6月26日17時00分	広島県北部	34° 55.8' N	132° 52.3' E	12km	M5.0
	震度 2:	広島中区上八丁堀, 広島中区羽衣町*, 広島東区福田*, 広島西区己斐*, 広島安佐南区祇園*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*, 広島佐伯区利松*				
	震度 1:	広島南区宇品海岸*, 広島佐伯区湯来町和田*				
No13	2018年8月28日12時49分	広島県北部	34° 37.7' N	132° 23.6' E	21km	M2.8
	震度 1:	広島安佐北区可部南*				
No14	2018年9月03日06時47分	山口県北西沖	34° 35.4' N	131° 20.8' E	16km	M4.6
	震度 1:	広島中区羽衣町*, 広島西区己斐*, 広島安佐南区祇園*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*, 広島佐伯区利松*				
No15	2018年11月2日16時53分	紀伊水道	33° 41.7' N	135° 11.7' E	44km	M5.4
	震度 1:	広島西区己斐*, 広島安佐北区可部南*, 広島安芸区中野*				

注) 震源が複数記載されている地震は、ほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないものです。

第3章 風水害

1 被害発生状況・避難情報

区 分 災害種別			総 数	平成30年7月豪雨 (7月5日～10月31日)	台風第24号 (9月29日～30日)		
人	死者・行方不明者		人	25	25	－	
	負 傷 者		〃	30	30	－	
住家	全 壊		棟	111	111	－	
	半 壊		〃	358	358	－	
	一 部 破 損		〃	130	130	－	
	床 上 浸 水		〃	894	894	－	
	床 下 浸 水		〃	978	978	－	
非 住 家			〃	619	619	－	
公 共 建 物			〃	16	16	－	
公共土木施設	道路・橋梁	流 失 箇所	〃	579	579	－	
		損 壊				〃	－
		冠 水				〃	－
		土砂流入				〃	－
	河川・堤防・護岸	決 壊	〃	842	842	－	
		欠け崩れ	〃			－	
		越水・溢水	〃			－	
		そ の 他	〃			－	
	そ の 他		〃	79	79	－	
	農地・農林・水産	田・畑	流 失	〃	550	550	－
埋 没			〃	－			
冠 水			〃	－			
そ の 他		〃	298	298	－		
山崖崩れ	山・がけ崩れ(自然)		〃	149	149	－	
	がけ崩れ(人工)		〃			－	
そ の 他			〃	－	－	－	
避 難			世帯	3,866	3,742	124	
			人員	9,718	(注1) 9,489	229	
土砂	避難準備		学区数	224	112	(注3) 112	
	避難勧告		〃	112		－	
	避難指示		〃	112		(注2) 112	－
洪水	避難準備		〃	43	43	－	
	避難勧告		〃	18		－	
	避難指示		〃	13		－	

注1) 平成30年7月豪雨の避難人員については、各避難場所の最大避難者数を加算したものである。

注2) 平成30年7月豪雨の避難情報の学区数については、発令最大数である。

注3) 台風第24号の避難準備の学区数については、台風に備えて各区長の判断で発令した学区数である。

2 災害応急組織を編成して対応した災害の概要（被害及び避難者を計上した災害を抜粋）

(1) 平成30年7月豪雨

ア 気象状況等及び本市の体制

【7月5日（木）】

時 間	気象状況等	本市の体制
01時34分	大雨注意報 発表	広島市及び各区注意体制 設置
09時21分	大雨警報 発表	広島市及び各区警戒体制 設置
16時10分	鈴張川（向田観測所）氾濫警戒情報 発表	広島市及び安佐北区災害警戒本部 設置
16時33分	洪水警報 発表	体制継続
20時30分	鈴張川（向田観測所）氾濫警戒情報 解除	広島市及び安佐北区災害警戒本部 廃止 広島市及び安佐北区警戒体制 設置
21時46分	洪水警報 解除	体制継続

【7月6日（金）】

時 間	気象状況等	本市の体制
10時06分	洪水警報 発表	広島市及び各区警戒体制 設置（継続）
12時15分	危機管理担当局長判断	広島市及び安佐北区災害警戒本部 設置
14時00分	1時間後に基準値超過（13D）	佐伯区災害警戒本部 設置
14時05分	土砂災害警戒情報 発表	広島市及び佐伯区災害対策本部 設置 中区、東区、南区、西区、安佐南区、安芸区災害警戒本部 設置
14時25分	1時間後に基準値超過（15G, 15H, 16F, 16G）	中区、東区、西区、安佐南区、安佐北区災害対策本部 設置
17時25分	土砂災害発生	南区災害対策本部 設置
18時00分	1時間後に基準値超過（15I）	安芸区災害対策本部 設置 （広島市及び各区災害対策本部 設置）
19時40分	大雨特別警報 発表	広島市及び各区災害対策本部（全員体制）設置
19時40分	全市の土砂災害の勧告地域を対象に避難指示（緊急）を発令 河川の越水を確認したところは、順次、避難指示（緊急）を発令	広島市及び各区災害対策本部（全員体制）継続

【7月7日（土）】

時 間	気象状況等	本市の体制
10時50分	大雨特別警報 解除 大雨警報 発表	広島市及び各区災害対策本部（全員体制）継続
13時30分		広島市及び各区災害対策本部へ移行
15時35分	洪水警報 解除 洪水注意報 発表	同上

【7月8日（日）】

時 間	気象状況等	本市の体制
09時00分	大雨警報 洪水注意報 継続 土砂災害警戒情報 発表中	同上

【7月9日（月）】

時 間	気象状況等	本市の体制
04時23分	大雨警報 解除 大雨注意報 発表	同上

11 時 30 分		中区、西区、安佐南区災害対策本部廃止
14 時 49 分	大雨注意報 解除	
16 時 30 分		佐伯区災害対策本部廃止

【8月27日（月）】

時 間	気象状況等	本市の体制
10 時 00 分		南区災害対策本部廃止

【10月17日（水）】

時 間	気象状況等	本市の体制
11 時 00 分		東区災害対策本部廃止

【10月31日（水）】

時 間	気象状況等	本市の体制
17 時 00 分		安佐北区災害対策本部廃止

【11月1日（木）】

時 間	気象状況等	本市の体制
09 時 00 分		広島市及び安芸区災害対策本部廃止

イ 避難情報の発信・発令状況等

※ 表中の避難準備は「避難準備・高齢者等避難開始」、避難指示は「避難指示(緊急)」である。

【中区】

月日	発令時間	情報種別	原因	対象区域（小学校区名）
7/5	09 時 31 分	注意喚起	土砂	全市
7/5	16 時 57 分	注意喚起	洪水	全市
7/6	07 時 59 分	注意喚起	土砂	全市
7/6	10 時 14 分	注意喚起	洪水	全市
7/6	14 時 08 分	避難準備	土砂	区全域（2学区）
7/6	14 時 36 分	避難勧告	土砂	区全域（2学区）
7/6	19 時 43 分	避難指示	土砂	区全域（2学区）
7/6	21 時 37 分	避難準備	洪水	袋町、竹屋、千田、中島
7/6	21 時 43 分	注意喚起※	土砂・洪水	全市

※ 21 時 43 分の注意喚起は翌日未明にかけて猛烈な雨が予想されたことに伴い実施（以下同じ）

※ 7/9 区内全ての避難勧告等を解除

【東区】

月日	発令時間	情報種別	原因	対象区域（小学校区名）
7/5	09 時 31 分	注意喚起	土砂	全市
7/5	16 時 57 分	注意喚起	洪水	全市
7/6	07 時 59 分	注意喚起	土砂	全市
7/6	10 時 14 分	注意喚起	洪水	全市
7/6	14 時 08 分	避難準備	土砂	区全域（13学区）
7/6	14 時 34 分	避難勧告	土砂	戸坂、戸坂城山、東浄、牛田新町、牛田、早稲田、中山、尾長、矢賀、白島（東区）
7/6	14 時 51 分	避難準備	洪水	温品、上温品
7/6	15 時 05 分	避難準備	洪水	尾長、矢賀
7/6	15 時 25 分	避難勧告	土砂	福木

7/6	18時10分	避難勧告	土砂	温品、上温品
7/6	18時22分	避難勧告	洪水	温品、上温品
7/6	18時28分	避難準備	洪水	戸坂、牛田新町、牛田
7/6	18時41分	避難勧告	洪水	尾長、矢賀
7/6	18時57分	避難指示	洪水	温品、上温品
7/6	19時43分	避難指示	土砂	区全域
7/6	21時43分	注意喚起※	土砂・洪水	全市
7/10	22時59分	避難準備 (指示から切替)	土砂	温品（一部区域） 温品（一部区域）
7/13	11時47分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	福木（馬木三丁目、馬木四丁目、馬木七丁目及び馬木八丁目の大谷川の新直助橋から上流の護岸沿いの区域）
7/13	11時47分	避難準備 (指示から切替)	土砂	福木（馬木一丁目、馬木二丁目及び馬木三丁目の大谷川の新直助橋から下流の護岸沿いの区域・馬木一丁目及び馬木二丁目の府中大川護岸沿いの区域）
7/29	06時08分	避難準備	土砂	福木（福田一丁目の上条地区及び馬木二丁目の温品川護岸沿い区域）
7/30	14時42分	避難準備 (勧告から切替)	土砂	福木（馬木三丁目、馬木四丁目、馬木七丁目及び馬木八丁目の大谷川の新直助橋から上流の護岸沿いの区域）

※ 10/17 区内全ての避難勧告等を解除

【南区】

月日	発令時間	情報種別	原因	対象区域（小学校区名）
7/5	09時31分	注意喚起	土砂	全市
7/5	16時57分	注意喚起	洪水	全市
7/6	07時59分	注意喚起	土砂	全市
7/6	10時14分	注意喚起	洪水	全市
7/6	14時08分	避難準備	土砂	区全域（11学区）
7/6	15時05分	避難準備	洪水	荒神町、大州
7/6	17時25分	避難勧告	土砂	楠那
7/6	17時51分	避難勧告	土砂	元字品、似島
				字品東
7/6	18時10分	避難勧告	土砂	仁保
				青崎、向洋新町
7/6	18時19分	避難勧告	土砂	段原、皆実、大河、黄金山
7/6	18時29分	避難勧告	洪水	荒神町、大州
7/6	19時43分	避難指示	土砂	区全域
7/6	21時43分	注意喚起※	土砂・洪水	全市
7/9	20時34分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	楠那

※ 7/10 区内全ての避難勧告等を解除

【西区】

月日	発令時間	情報種別	原因	対象区域（小学校区名）
7/5	09時31分	注意喚起	土砂	全市

7/5	16時57分	注意喚起	洪水	全市
7/6	07時59分	注意喚起	土砂	全市
7/6	10時14分	注意喚起	洪水	全市
7/6	14時08分	避難準備	土砂	区全域（13学区）
7/6	14時36分	避難勧告	土砂	大芝、三篠の太田川放水路以西、己斐、己斐上、己斐東、山田、古田台、井口台、古田、高須、草津、鈴が峰、井口
7/6	19時43分	避難指示	土砂	区全域
7/6	21時43分	注意喚起※	土砂・洪水	全市

※ 7/9 区内全ての避難勧告等を解除

【安佐南区】

月日	発令時間	情報種別	原因	対象区域（小学校区名）
7/5	09時31分	注意喚起	土砂	全市
7/5	16時57分	注意喚起	洪水	全市
7/6	07時59分	注意喚起	土砂	全市
7/6	10時14分	注意喚起	洪水	全市
7/6	14時08分	避難準備	土砂	区全域（19学区）
7/6	14時35分	避難勧告	土砂	祇園、山本、春日野、長東西、伴南、大塚、伴、伴東
7/6	15時27分	避難勧告	土砂	梅林、八木、緑井、毘沙門台、安東、大町、上安、安北、安、安西
7/6	15時56分	避難勧告	土砂	戸山
7/6	19時01分	避難準備	洪水	梅林、八木、川内、緑井、古市、東野、中筋、原、原南、祇園、山本、長東、長東西
7/6	19時43分	避難指示	土砂	区全域
7/6	21時43分	注意喚起※	土砂・洪水	全市
7/7	03時47分	避難準備	洪水	毘沙門台、安東、大町、安、安西、伴、古市、原、祇園、長東、山本

※ 7/9 区内全ての避難勧告等を解除

【安佐北区】

月日	発令時間	情報種別	原因	対象区域（小学校区名）
7/5	09時31分	注意喚起	土砂	全市
7/5	16時57分	注意喚起	洪水	全市
7/6	07時59分	注意喚起	土砂	全市
7/6	10時14分	注意喚起	洪水	全市
7/6	12時43分	避難準備	土砂	区全域（26学区）
7/6	14時32分	避難勧告	土砂	口田
7/6	15時27分	避難勧告	土砂	狩小川、深川、亀崎、倉掛、真亀、落合東、落合、口田東、可部南、筒瀬、日浦
7/6	15時20分	避難準備	洪水	可部、可部南
7/6	15時52分	避難準備	洪水	井原
7/6	16時04分	避難勧告	洪水	井原
7/6	15時56分	避難勧告	土砂	可部、飯室、久地、久地南
7/6	16時29分	避難準備	洪水	狩小川、深川

7/6	17時02分	避難勧告	洪水	狩小川、深川
7/6	17時08分	避難準備	洪水	柳瀬地区
7/6	17時12分	避難勧告	土砂	亀山、亀山南
7/6	17時42分	避難準備	洪水	井原、高南、三田、狩小川、
7/6	17時51分	避難勧告	土砂	大林、三入
7/6	18時03分	避難指示	洪水	狩小川、深川
7/6	18時10分	避難勧告	土砂	井原、志屋、高南、三田、三入東、鈴張
7/6	18時23分	避難勧告	洪水	可部、可部南
7/6	18時40分	避難準備	洪水	大林、三入
7/6	18時52分	避難準備	洪水	落合東、口田東、口田
7/6	19時26分	避難指示	洪水	可部、可部南
7/6	19時41分	避難指示	洪水	井原
7/6	19時43分	避難指示	土砂	区全域
7/6	20時11分	避難勧告	洪水	井原、高南、三田、狩小川
7/6	21時43分	注意喚起※	土砂・洪水	全市
7/7	02時37分	避難準備	洪水	飯室、鈴張
7/7	20時31分	避難準備 (指示・勧告から切替)	洪水	井原、高南、三田、狩小川、深川
7/11	18時08分	避難指示	土砂	井原（一部区域）
7/15	10時28分	避難準備 (指示から切替)	土砂	高南、狩小川、口田（口田南三丁目、口田南五丁目）
7/23	21時27分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
7/29	08時09分	避難指示 (勧告から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
7/29	16時22分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
8/16	10時26分	避難指示 (勧告から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
8/16	18時00分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
9/1	06時30分	避難指示 (勧告から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
9/1	14時19分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
9/8	17時44分	避難指示 (勧告から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
9/9	17時44分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
9/30	14時12分	避難指示 (勧告から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)
9/30	23時57分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	井原（三篠川から以東（神ノ倉山側））の中東地区及び沼地区)

※ 10/31 区内全ての避難勧告等を解除

【安芸区】

月日	発令時間	情報種別	原因	対象区域（小学校区名）
7/5	09時31分	注意喚起	土砂	全市
7/5	16時57分	注意喚起	洪水	全市
7/6	07時59分	注意喚起	土砂	全市
7/6	10時14分	注意喚起	洪水	全市
7/6	14時08分	避難準備	土砂	区全域（11学区）
7/6	17時21分	避難準備	洪水	中野、船越、矢野西、矢野
7/6	18時05分	避難勧告	土砂	中野、畑賀、瀬野、船越、矢野西、矢野
7/6	18時20分	避難勧告	土砂	矢野南、寺屋敷地区
7/6	18時31分	避難勧告	土砂	中野東、みどり坂、阿戸
7/6	19時07分	避難勧告	洪水	中野、瀬野、船越、矢野西、矢野
7/6	19時32分	避難指示	洪水	瀬野、阿戸
7/6	19時43分	避難指示	土砂・洪水	区全域（土砂11学区、洪水5学区）
7/6	21時43分	注意喚起※	土砂・洪水	全市
7/12	19時55分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	瀬野、中野、中野東、畑賀、阿戸、船越、矢野西、矢野南、矢野（矢野東七丁目を除く）寺屋敷地区
7/19	11時42分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	矢野（矢野東七丁目）
7/28	18時31分	避難指示 (勧告から切替)	土砂	瀬野（清山団地・清松園団地）、矢野（矢野東二丁目1番、2番、3番街区（幸崎地区）・矢野東七丁目）
7/29	16時30分	避難勧告 (指示から切替)	土砂	瀬野（清山団地・清松園団地）、矢野（矢野東二丁目1番、2番、3番街区（幸崎地区）・矢野東七丁目）
8/8	11時30分	避難準備 (勧告から切替)	土砂	瀬野（清山団地・清松園団地を除く）、中野、中野東、畑賀、阿戸、船越、矢野西、矢野南、矢野（矢野東二丁目1番、2番、3番街区（幸崎地区）・矢野東七丁目を除く）、寺屋敷地区
9/5	19時00分	避難準備 (勧告から切替)	土砂	瀬野（清山団地・清松園団地）、矢野（矢野東七丁目）
9/9	09時43分	避難準備	土砂	瀬野（清山団地・清松園団地を除く）、中野、畑賀、矢野（矢野東七丁目を除く）、寺屋敷地区

※ 12/21 区内全ての避難勧告等を解除

【佐伯区】

月日	発令時間	情報種別	原因	対象区域（小学校区名）
7/5	09時31分	注意喚起	土砂	全市
7/5	16時57分	注意喚起	洪水	全市
7/6	07時59分	注意喚起	土砂	全市
7/6	10時14分	注意喚起	洪水	全市
7/6	14時08分	避難準備	土砂	湯来東、湯来南、五月が丘、石内（湯戸町内会和田地区を除く）、河内、藤の木、彩が丘、八幡東、八幡、五日市観音西、五日市観音、美鈴が丘、五日市、五日市東、五日市南、楽々園、石内学区湯戸町内会和田地区

7/6	14時15分	避難勧告	土砂	湯来西
7/6	15時18分	避難勧告	土砂	湯来東、八幡東、美鈴が丘、五日市東、五日市南
7/6	16時48分	避難勧告	土砂	湯来東、湯来南、五月が丘、石内(湯戸町内会和田地区を除く)、河内、藤の木、彩が丘、八幡東、八幡、五日市観音西、五日市観音、美鈴が丘、五日市、五日市東、五日市南、楽々園、石内学区湯戸町内会和田地区
7/6	19時43分	避難指示	土砂	区全域(17学区)
7/6	21時43分	注意喚起※	土砂・洪水	全市
7/7	04時43分	避難準備	洪水	湯来東

※ 7/9 区内全ての避難勧告等を解除

ウ 動員の状況(最大動員時の人数)

区分	総員	各局・区職員	消防職員
警戒体制	532	117	415(うち当務者 415)
災害警戒体制	939	356	583(うち当務者 415)
災害対策本部	3,881	2,624	1,257(うち当務者 415)

エ 最大避難状況

区分	総数	中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
最大開設施設数	145	6	22	17	13	26	28	14	19
最大避難者数	9,489	68	1,611	611	321	1,164	2,212	2,906	596

オ 被害状況等

区分			総数	中	東	南	西	安佐南	安佐北	安芸	佐伯
人	死者・行方不明者	人	25		1	1			3	20	
	負傷者	人	30				2		3	25	
住家	全壊	棟	111		20	11	1		21	58	
	半壊	棟	358		17	30	2		157	152	
	一部破損	棟	130	3	22	18	6	1	15	59	6
	床上浸水	棟	894	7	38	19	6	1	394	429	
	床下浸水	棟	978	1	86	38	3	83	216	550	1
非住家		棟	619	9	15	16	4	6	315	253	1
公共建物等		棟	14		1				7	6	

※ 1 住家及び非住家については、被害の程度が判明したものの棟数を掲載している。

2 公共建物等については、市有施設の被害を掲載している

(2) 台風第24号(9月29日～30日)

ア 気象状況等及び本市の体制

【9月29日(土)】

時 間	気象状況等	本市の体制
16時15分	大雨・強風・波浪注意報 発表	

【9月30日(日)】

時 間	気象状況等	本市の体制
3時45分	大雨警報・高潮注意報 発表	広島市全域警戒体制 設置
7時16分	暴風・波浪警報、洪水注意 報発表	
9時00分		中区、南区、西区、安佐南区及び佐伯区災害警戒本部 設置
18時38分	高潮注意報 解除	
18時38分	高潮注意報 解除	
18時40分		中区、南区、西区、安佐南区及び佐伯区災害警戒本部 廃止

※ 広島市、東区、安佐北区及び安芸区については、7月豪雨災害による災害対策本部設置中である。

イ 避難情報等の発令状況

【9月30日(日)】

発令時間	情報種別	対象学区(小学校区名)
8時59分	避難準備	南区青崎、向洋新町、段原、皆実、大河、黄金山、仁保、楠那、宇品東(金輪島)、元宇品、似島
9時00分	避難準備	東区福木、温品、上温品、戸坂、戸坂城山、東浄、牛田新町、牛田、早稲田、中山、尾長、矢賀、白島(東区)
9時00分	避難準備	安芸区瀬野、みどり坂、中野、中野東、畑賀、阿戸、船越、矢野西、矢野、矢野南、寺屋敷地区
9時01分	避難準備	西区大芝、三條小学校区の太田川放水路以西、己斐、己斐上、己斐東、山田、古田台、井口台、古田、高須、草津、鈴が峰、井口
9時05分	避難準備	佐伯区湯来東、湯来西、湯来南、石内、藤の木、河内、彩が丘、八幡、八幡東、五日市観音西、五日市観音、五月が丘、美鈴が丘、五日市、五日市東、五日市南、楽々園
9時07分	避難準備	中区舟入、江波
9時16分	避難準備	安佐南区梅林、八木、緑井、毘沙門台、安東、大町、上安、安北、安、安西、祇園、山本、春日野、長東西、伴南、大塚、戸山、伴、伴東
9時17分	避難準備	安佐北区井原、志屋、高南、三田、狩小川、深川、亀崎、倉掛、真亀、落合東、落合、口田東、口田、大林、三入、三入東、可部、可部南、亀山、亀山南、鈴針、飯室、久地、久地南、筒背、日浦

※1 東区(福木(馬木三丁目、馬木四丁目、馬木七丁目及び馬木八丁目)の大谷川の新直助橋から上流の護岸沿いの区域)、安佐北区(口田(口田南三丁目、口田南五丁目)、井原(三條川から以東(神ノ倉山側)の中東地区及び沼地区、安芸区の瀬野(清山団地・清松園団地)、矢野(矢野東七丁目)は7月豪雨災害に伴う避難情報継続区域である。

※2 表中の避難準備は、「避難準備・高齢者等避難開始」である。

※3 安佐北区及び安芸区は、避難所の避難者へ解除理由を説明した後に解除したものである。

ウ 動員の状況（最大動員時の人数）

区分	総員	各局・区職員	消防職員
警戒体制設置時	472	123	349 (うち当務者 349)
災害警戒本部	1,284	654	630 (うち当務者 349)

エ 避難状況

区 分	総 数	中 区	東 区	南 区	西 区	安佐南区	安佐北区	安 芸 区	佐 伯 区
避難所数	124	2	12	11	13	28	27	14(1)	17
避難世帯数	124		7	3	1	3	43	64(9)	3
避難者数	229		8	4	1	3	71	137(20)	5

※ カッコ内は、平成 30 年 7 月豪雨に伴う矢野小学校の避難者数等を示し、内数である。

オ 被害状況等

被害なし

第4章 火 災

1 火災発生状況

平成 30 年（2018 年）中における火災は 244 件で、平成 29 年（2017 年）に比べ、53 件減少した。

火災種別ごとの件数は、「建物火災」が 155 件で全体の約 64%を占め、次いで「その他の火災」が 65 件、「車両火災」が 18 件、「林野火災」が 6 件となっている。

死傷者については、死者が 8 人（前年比 1 人増）、負傷者が 48 人（前年比 8 人減）となっている。

行政区別火災発生状況

区 分	火災 件数 (件)	火災種別内訳						焼損面積		損害額 (千円)	死傷者(人)	
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物 (㎡)	林野 (a)		死者	負傷者
中	26	20	0	1	0	0	5	366	0	78,001	1	7
東	19	17	0	1	0	0	1	89	0	19,204	0	7
南	29	21	0	3	0	0	5	600	0	156,973	3	6
西	33	21	0	3	0	0	9	342	0	45,092	0	8
安佐南	37	23	1	3	0	0	10	498	3	49,440	2	7
安佐北	58	30	2	4	0	0	22	1,240	6	63,107	1	9
安芸	20	10	2	2	0	0	6	395	336	64,375	1	3
佐伯	22	13	1	1	0	0	7	169	54	36,103	0	1
合計	244	155	6	18	0	0	65	3,699	399	512,295	8	48
平成 29 年 合計	297	196	3	20	0	0	78	3,796	11	441,928	7	56
前年比	▲ 53	▲ 41	3	▲ 2	0	0	▲ 13	▲ 97	388	70,367	1	▲ 8

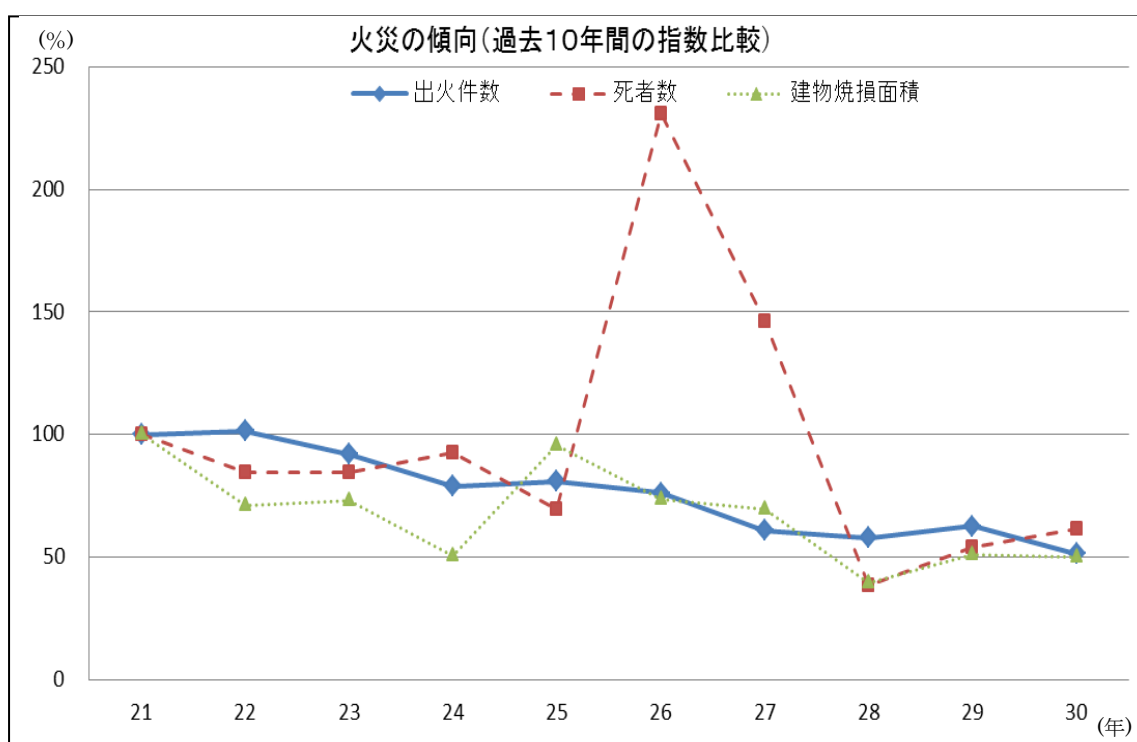
2 1日当たり及び1件当たりの火災概況

区 分	数 値
全火災1日当たり	出火件数
	0.67 件
	損害額
	140.4 万円
全火災1件当たり	建物焼損面積
	10.1 m ²
	林野焼損面積
	1.09 a
建物火災1件当たり	損害額
	210.0 万円
	焼損面積
建物火災1件当たり	23.86 m ²
	焼損棟数
	1.4 棟
林野火災1件当たり	損害額
	7.2 万円
林野火災1件当たり	焼損面積
	64.83 a
車両火災1件当たり	損害額
	87.8 万円
車両火災1件当たり	焼損台数
	1.1 台
船舶火災1件当たり	損害額
	—
船舶火災1件当たり	焼損艘数
	—
航空機火災1件当たり	損害額
	—
航空機火災1件当たり	焼損機数
	—
その他の火災1件当たり	損害額
	149.7 万円

3 火災件数と死者数の推移（過去10年間）

区 分	平成21年	平成30年
出火件数	475 件	244 件
建物焼損面積	7,421 m ²	3,699 m ²
死者数	13 人	8 人

平成21年＝100%



第5章 ガス災害

平成30年（2018年）中のガスによる事故発生件数は2件で、平成29年（2017年）の5件よりも3件減少している。このうち、火災に至ったものは1件である。

1 ガス事故件数及び死傷者数

（表1）

区 分		都 市 ガ ス						液化石油ガス			計		
		件数 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	簡 易 ガ ス			件数 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	件数 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)
					件数 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)						
爆発・火災事故								1 (0)			1 (0)		
爆発のみに 留まったもの													
漏えい事故								1 (0)		1 (0)	1 (0)		1 (0)
計								2 (0)		1 (0)	2 (0)		1 (0)
平成29年 比較	平成29年計	3 (0)		3 (0)				2 (0)		2 (0)	5 (0)		5 (0)
	増減	▲3 (0)		▲3 (0)				0 (0)		▲1 (0)	▲3 (0)		▲4 (0)

注：この表は、都市ガス及び液化石油ガスに係る爆発・火災事故及び漏えい事故（以下「ガス事故」という。）の件数及び死傷者数について調査したもので、その記載については次による。

1 ガス事故の態様の別は次によること。

(1) 爆発・火災事故：都市ガス又は液化石油ガスが着火物となって生じた爆発・火災事故をいう。

なお、爆発のみで留まったものについては該当欄に再掲。

(2) 漏えい事故：人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発・火災若しくは人的損害を生じるおそれがある都市ガス又は液化石油ガスの漏えいであって、消防機関が出場したもののうち、(1)に該当しないものをいう。

2 都市ガスの欄には、ガス事業法第3条及び第37条の2の許可を受けたガス事業者によって供給されるガスによる事故について記載し、簡易ガスの欄にはガス事業法第37条の2の許可を受けたガス事業者によって供給されるガスによる事故について再掲。

3 死者の欄には、爆発・火災事故は48時間以内に、漏えい事故は初診時において、それぞれ死亡が確認された者の数を記載。

4 表中の括弧内には、自損行為に起因する事故について再掲。

2 ガス事故発生場所別被害状況

（表2）

発生場所 ガス種別		ガス 製 造 施 設	ガス 導 管	容器 に よ り 運 搬	消 費 先							計
					住 宅 共 同 住 宅	旅 館	飲 食 店	学 校 ・ 病 院	工 場	そ の 業 他 所 の 等	小 計	
都市 ガス	件 数 (件)											
	死 者 (人)											
	負 傷 者 (人)											
液化 石油 ガス	件 数 (件)				1 (0)		1 (1)				2 (1)	2 (1)
	死 者 (人)											
	負 傷 者 (人)				1 (0)						1 (0)	1 (0)

注：この表は、ガス事故の発生場所別の被害状況を調査したもので、その記載については、表1の注：1～3によるほか次による。

1 ガス製造施設の欄には、ガス事業者の敷地内にある施設又は液化石油ガスの製造業者若しくは販売業者の敷地内にある施設における事故について記載。

2 ガス導管の欄には、ガス導管又はガス供給管部分で発生した事故のうち、注：4に該当しないものについて記載。

3 容器による運搬の欄には、液化石油ガスを容器により運搬していた際に発生した事故について記載。

4 消費先の欄には、次の場所において発生した事故について、それぞれ該当する区分の欄に記載。

(1) 都市ガス：建物内のガス導管からガス器具まで。(2) 液化石油ガス：ボンベ等が消費先敷地内に設置されている場合にあつては当該ボンベ等からガス器具まで、それ以外の場合にあつては当該建物内のガス導管からガス器具まで。

5 表中の括弧内には、爆発・火災に係る被害について再掲。

3 消費先におけるガス事故発生原因別件数

(表 3)
(件)

事故原因の別		ガス種類		液化石油ガス	小計
		都市ガス	簡易ガス		
ガス事業者・工事業者に係る原因	ガス器具の欠陥によるもの				
	工事不良・維持管理不良によるもの				
	ガスの漏えい発見後の不適切な処理によるもの				
消費者に係る原因	コックの誤操作・火の立ち消え等による生ガスの放出によるもの				
	器具・ホースの取扱・管理不良によるもの			1 (1)	1 (1)
	ガスの漏えい発見後の不適切な処理によるもの				
	自損行為によるもの				
その他	いたずら等故意によるもの				
	不明・その他			1 (0)	1 (0)
計				2 (1)	2 (1)

注：この表は、消費先（表 2 の注：4 による。）におけるガス事故の主要原因と考えられるものについて、その件数を調査したもので、記載については、表 1 の注：1 及び 2 によるほか次による。

- 1 原因が重複して考えられるものは、主たるものについてのみ計上。
- 2 表中の括弧内には、爆発・火災に係る件数を再掲。

第6章 危険物災害

平成30年（2018年）中の危険物に係る事故は8件発生しており、平成29年（2017年）の10件から2件減少している。事故種別では、火災に至らなかった製造所等の事故が8件である。危険物施設別では、一般取扱所1件、給油取扱所7件となっている。

(件)

区 分		合 計	危険物施設別（許可）											その他（届出）			
			小 計	製 造 所	屋内貯蔵所	屋外タンク	貯 蔵 所	屋内タンク	貯 蔵 所	地下タンク	貯 蔵 所	移動タンク	貯 蔵 所		給油取扱所	移送取扱所	一般取扱所
製 造 所 等 の 火 災																	
火災に至らなかった製造所等の事故		8	8									7			1		
無許可施設の火災																	
火災に至らなかった無許可施設の事故																	
危険物運搬中の火災																	
危険物運搬中の漏えい事故																	
合 計		8	8									7			1		
平成 29 年 比較	平成 29 年計	10	7							1		6					3
	増減	－2	＋1							－1		＋1			＋1		－3

【参考 1】救急活動

平成 30 年（2018 年）中の救急自動車等による出動件数は 58,033 件で、平成 29 年（2017 年）の 56,216 件と比べ 1,817 件増加している。この出動件数は 1 日に約 159.0 件、約 9 分に 1 件出動したことになる。

出動件数を行政区別にみると、中区の10,830件が最も多く、次いで安佐南区の9,305件、西区の8,997件の順となっている。事故種別では、「急病」が36,453件で最も多く、全出動件数の約62.8%を占め、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっている。

1 事故種別出動件数

(単位:件)

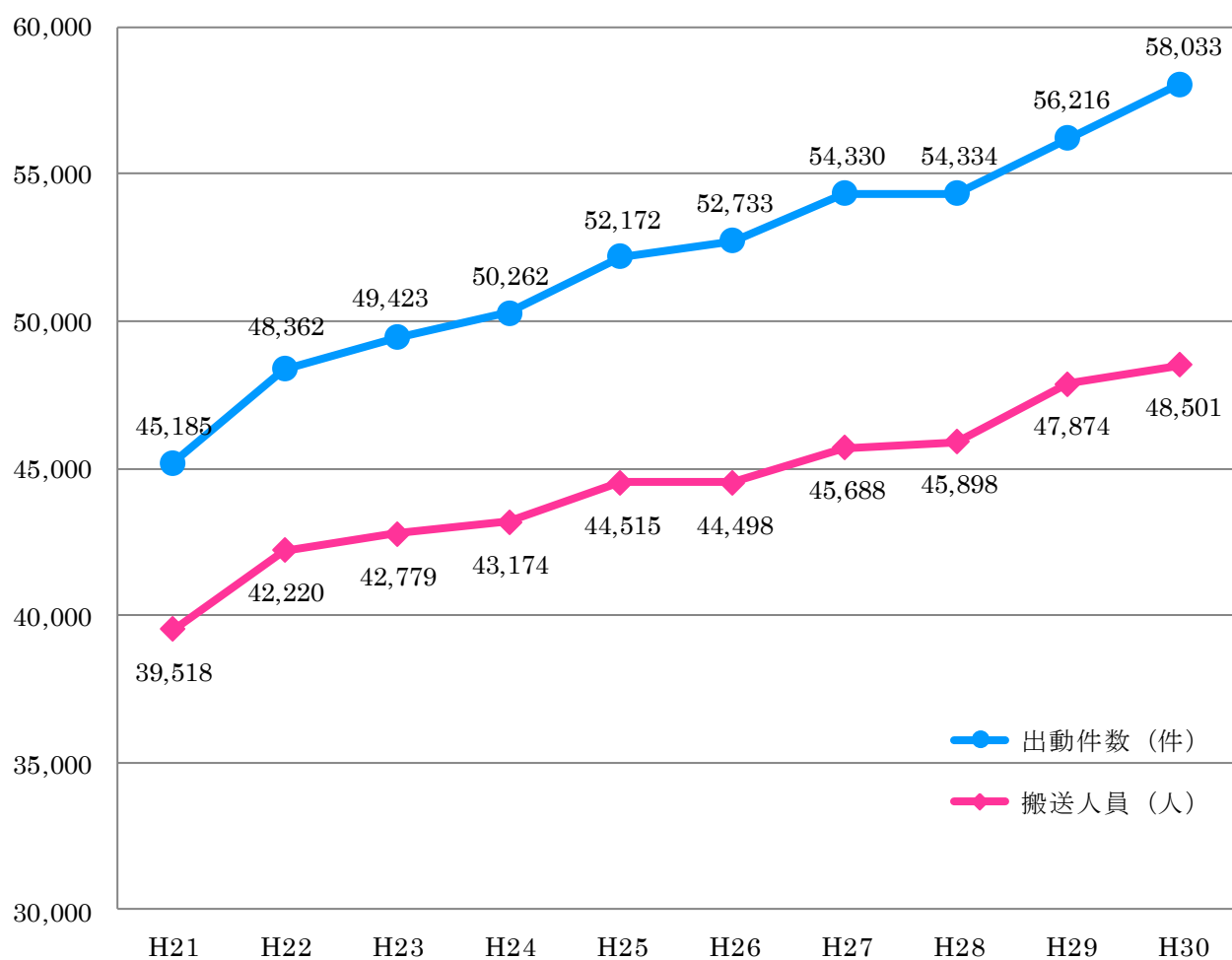
行政区別	総計	事故種別											
		急病	一般負傷	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	加害	火災	水難	自然災害	転院搬送	その他
中	10,830	6,782	1,568	833	77	54	46	100	34	7	1	1,036	292
東	5,377	3,523	798	435	44	28	39	17	13	1	6	366	107
南	8,498	5,370	1,221	661	59	58	76	47	25	9	5	771	196
西	8,997	5,811	1,332	825	64	53	57	40	19	2	5	606	183
安佐南	9,305	5,627	1,367	862	56	49	86	32	15			1,094	117
安佐北	6,197	3,863	951	439	43	53	21	21	20		27	649	110
安芸	3,289	2,062	469	296	33	27	14	13	9		70	242	54
佐伯	5,540	3,415	862	443	40	47	41	21	8	2		573	88
総計	58,033	36,453	8,568	4,794	416	369	380	291	143	21	114	5,337	1,147
1日あたり	159.0	99.9	23.5	13.1	1.1	1.0	1.0	0.8	0.4	0.1	0.3	14.6	3.1
平成29年総計	56,216	34,679	8,443	4,992	465	379	336	301	138	22	0	5,279	1,182
1日あたり	154.0	95.0	23.1	13.7	1.3	1.0	0.9	0.8	0.4	0.1	0.0	14.5	3.2
前年比増減	1,817	1,774	125	▲ 198	▲ 49	▲ 10	44	▲ 10	5	▲ 1	114	58	▲ 35

2 事故種別搬送人員数

(単位:人)

行政区別	総計	事故種別											
		急病	一般負傷	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	加害	火災	水難	自然災害	転院搬送	その他
中	8,357	5,186	1,282	642	47	50	45	62	8	3	1	1,028	3
東	4,592	3,080	692	340	33	26	39	9	5	1	2	362	3
南	6,773	4,254	1,024	517	39	55	76	35	7	2	0	760	4
西	7,505	4,874	1,168	677	39	50	56	24	7	0	2	603	5
安佐南	8,148	5,010	1,168	690	37	47	82	19	3	0	0	1,084	8
安佐北	5,530	3,498	888	371	24	53	21	15	7	0	4	641	8
安芸	2,831	1,824	422	244	22	26	13	7	4	0	25	238	6
佐伯	4,765	2,956	755	353	28	43	39	16	0	0	0	570	5
総計	48,501	30,682	7,399	3,834	269	350	371	187	41	6	34	5,286	42
1日あたり	132.9	84.1	20.3	10.5	0.7	1.0	1.0	0.5	0.1	0.0	0.1	14.5	0.1
平成29年総計	47,874	29,856	7,336	4,155	301	365	329	212	44	11	0	5,214	51
1日あたり	131.2	81.8	20.1	11.4	0.8	1.0	0.9	0.6	0.1	0.0	0.0	14.3	0.1
前年比増減	627	826	63	▲ 321	▲ 32	▲ 15	42	▲ 25	▲ 3	▲ 5	34	72	▲ 9

3 出動件数及び搬送人員数の推移（過去10年間）



【参考 2】 救助活動

平成30年（2018年）の救助件数は1,012件で、平成29年（2017年）の856件と比べると156件増加しており、その主たる要因は、平成30年7月豪雨の発生により「風水害等自然災害」の件数が増加したことによるものである。

また、事故種別では「建物等による事故」が272件で最も件数が多く、全体の約27%を占めており、次いで「その他の事故」が250件、「風水害等自然災害」が151件、「交通事故」が146件、「火災」が139件となっている。

区 分		総 計	火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故
			建物	建物 以外								
救助件数（件）		1,012 (465)	113 (13)	26 —	146 (77)	31 (24)	151 (50)	6 (4)	272 (197)	17 (1)	— —	250 (99)
屋 内	小 計	523 (259)	87 (13)	2 —	— —	— —	88 (30)	6 (4)	258 (191)	7 —	— —	75 (21)
	住 居	466 (241)	71 (13)	2 —	— —	— —	78 (27)	— —	241 (181)	5 —	— —	69 (20)
	その他	57 (18)	16 —	— —	— —	— —	10 (3)	6 (4)	17 (10)	2 —	— —	6 (1)
屋 外	小 計	383 (194)	2 —	18 —	146 (77)	31 (24)	60 (20)	— —	11 (6)	8 (1)	— —	107 (66)
	道 路	高速道	16 (2)	— —	2 —	13 (2)	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
		その他	149 (69)	— —	1 —	106 (56)	— —	26 (7)	— —	4 —	— —	12 (6)
	水 面	内水面	36 (26)	— —	— —	25 (20)	4 (1)	— —	— —	— —	— —	7 (5)
		外水面	6 (4)	— —	— —	6 (4)	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	山 岳		17 (12)	— —	2 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	15 (12)
	その他		159 (81)	2 —	13 —	27 (19)	— —	30 (12)	— —	11 (6)	4 (1)	72 (43)
	地 下		3 —	1 —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	1 —
その他		103 (12)	23 —	6 —	— —	— —	3 —	— —	2 —	2 —	— —	67 (12)
救助人員（人）		495	17	—	86	22	139	3	149	1	—	78
前 年 比 較	平成 30 年 救助件数（件）	1,012 (465)	113 (13)	26 —	146 (77)	31 (24)	151 (50)	6 (4)	272 (197)	17 (1)	— —	250 (99)
	平成 29 年 救助件数（件）	856 (411)	131 (15)	20 —	153 (66)	29 (22)	— —	8 (7)	256 (205)	15 —	— —	244 (96)
	増 減	156 (54)	▲18 (▲2)	6 —	▲7 (▲11)	2 (2)	151 (50)	▲2 (▲3)	16 (▲7)	2 (1)	— —	6 (3)

備考：下段（ ）内の数値は活動件数を示し、内数である。

平成30年（2018年）災害のまとめ

災 害 別	被 害 区 分		単 位	数 値
地 震	死 傷 者	死 者	人	—
		負 傷 者	人	—
	家 屋	全 壊	棟	—
		半 壊	棟	—
		一 部 破 損	棟	—
風 水 害	死 傷 者	死者・行方不明者	人	2 5
		負 傷 者	人	3 0
	家 屋	全 壊	棟	1 1 1
		半 壊	棟	3 5 8
		一 部 破 損	棟	1 3 0
		床 上 浸 水	棟	8 9 4
		床 下 浸 水	棟	9 7 8
	山 ・ が け 崩 れ		箇所	1 4 9
火 災	発 生 件 数		件	2 4 4
	焼損面積	建 物	m ²	3, 6 9 9
		林 野	a	3 9 9
	損 害 額		千円	5 1 2, 2 9 5
	死 傷 者	死 者	人	8
		負 傷 者	人	4 8
ガ ス 災 害	発 生 件 数		件	1
	死 傷 者（自損行為を除く。）	死 者	人	—
		負 傷 者	人	1
	火 災 件 数		件	1
	爆 発		件	—
危険物災害 （危険物施設（許可）に限る。）	漏 え い 事 故		件	1
	発 生 件 数		件	8
	火 災 件 数		件	—
	流 出 等 の 事 故		件	8